



喜界島の

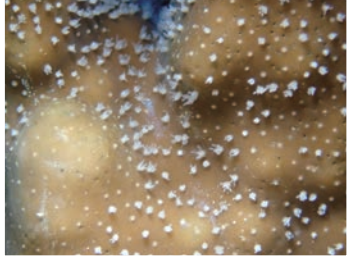
有藻性 サンゴ類

Zooxanthellate corals of Kikaijima Island

生きている😊
サンゴを見分けよう

藤井琢磨・北野裕子・磯村尚子・深見裕伸（編）

喜界島サンゴ礁科学研究所



きかいじま ゆうそうせい るい
喜界島の有藻性サンゴ類
Zooxanthellate corals of Kikaijima Island

い みわ
～生きているサンゴを見分けよう～

藤井琢磨・北野裕子・磯村尚子・深見裕伸（編）



はじめに

喜界島のまわりの海にはサンゴがたくさん生息しています。喜界島サンゴ礁科学研究所の活動もあり、島の内外に関わらず、たくさんの人が海の中に直接は行ってサンゴをみる機会が増えているように思います。サンゴをみたときに、「これはなんという名前のサンゴなんだろう」と思うこともあるでしょう。しかし、サンゴの名前を知りたいと思っても、何をみればよいのか、どう調べればよいのか、なかなかわからない、なんてこともあるかもしれません。そこで、今回、楽しみながらなんとなくでもわかるように、必要な人は専門的な知識も学べるように、喜界島にいるサンゴの図鑑を作ってみました。人は名前をしらないと物を区別するのが難しいといわれています。この図鑑を手にもって、海の中でみたサンゴや、写真にとったサンゴを比べてみて、ぜひ名前をつけてみてください。まだ、紹介しきれていない種類もあります。わからないことがあれば、喜界島サンゴ礁科学研究所をたずねてみてください。さらに詳しいことを教えてくれるでしょう。そして、さらにサンゴにたくさん興味をもってもらえればとてもうれしいです。この図鑑が喜界島のサンゴの保全にも役立っていくことを願っています。

製作者一同

[補足 : 似たもの同士のグループについて]

図鑑を使って種の名前をつけるには、「分類階級」という、似た者同士を集めたグループの名前を使えると便利です。これは、たとえば、学校生活での集まりで「生徒<班<クラス<学年<学校」というグループ分けがされているように、生き物たちも似た者同士を集めて、小さい方から順に専門用語で「種<属<科<目<綱<門…」というグループ分けがなされています。また、これらのグループのあたりに「亜」がつくと、そのグループ内の少し小さいグループになります。たとえば、亜綱は「目」と「綱」の間にはいり、「…目<亜綱<綱…」となります。

この図鑑ではできるだけ一般的な言葉で表現するようにところがけましたが、他の図鑑などで見比べることもできる様に、専門用語も一部で使っています。わからない言葉は、まわりの人にきいてみてたり自分で調べたりしてみましょう。

もくじ 目次

はじめに	3
もくじ 目次	4
この図鑑の使い方	5
サンゴとは	6
自分でサンゴを見分けてみよう	8
この図鑑にのせたイシサンゴ目の科や属の特徴	10
喜界島について	12
調査地点について	14

サンゴの種の説明

【イシサンゴ目 Scleractinia (花虫綱六放サンゴ亜綱)】

ミドリイシ科 Acroporidae	16
ヒラフキサンゴ科 Agariciidae	27
ムカシサンゴ科 Astrocoeniidae	29
キサンゴ科 Dendrophylliidae	29
ハナサンゴ科 Euphylliidae	30
クサビライシ科 Fungiidae	32
オオトゲサンゴ科 Lobophylliidae	34
サザナミサンゴ科 Merulinidae	38
ハナヤサイサンゴ科 Pocilloporidae	50
ハマサンゴ科 Poritidae	52
アミメサンゴ科 Psammocoridae	55
科所属不明 Family <i>incertae sedis</i>	55

【アオサンゴ目 Helioporacea (花虫綱八放サンゴ亜綱)】

アオサンゴ科 Helioporidae	56
---------------------	----

【ハナクラゲ目 Anthoathecata (ヒドロ虫綱)】

アナサンゴモドキ科 Milleporidae	57
------------------------	----

主要参考文献	58
--------	----

おわりに	59
------	----

ミドリイシ科 Acropora ① lae



② ミドリイシ属 *Acropora* ⑤ KICRS-L-00001 花良治, 10 m

③ トゲマツミドリイシ
④ *Acropora abrotanoides* (Lamarck, 1816)



⑥ KICRS-L-00001 花良治, 10 m

● 枝はかなり太く、先端近くで細かく枝分かれする ● 枝側面の個体は不揃いで、枝の端近くでは長くなる





ミドリイシ属 *Acropora* ⑧ KICRS-L-00002 阿佐, 11 m

トゲマツミドリイシ
Acropora abrotanoides (Lamarck, 1816)



KICRS-L-00002 阿佐, 11 m

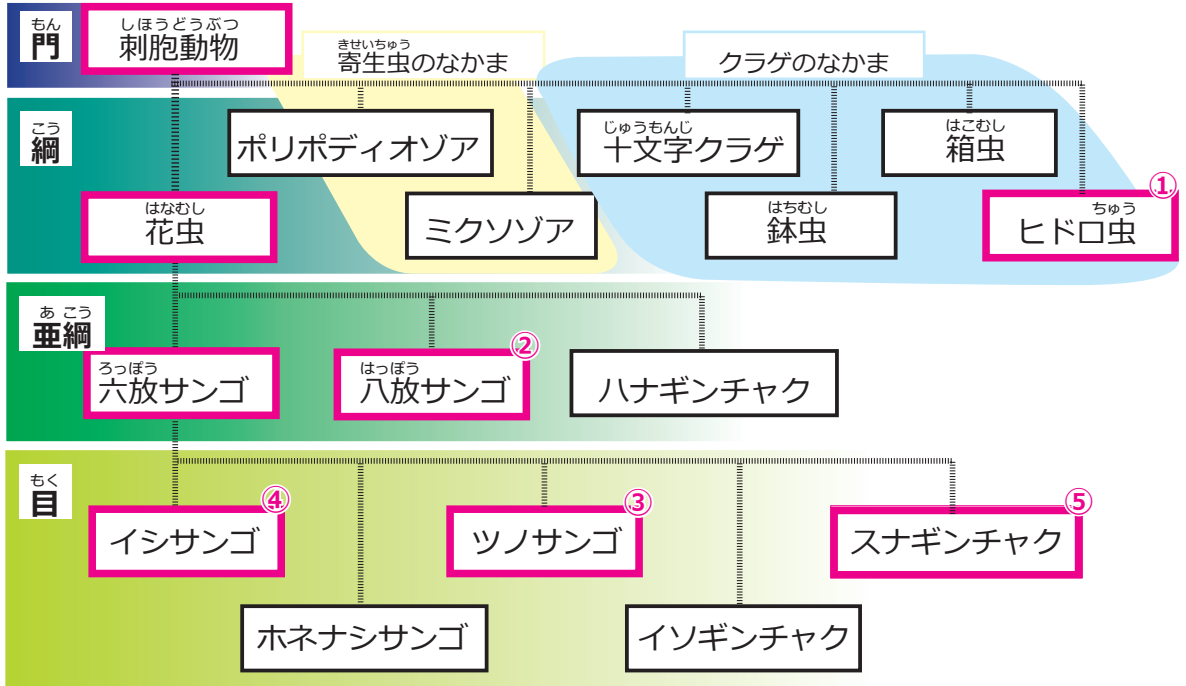
● 枝同士が癒合し平板な樹枝状にもなる ● 群体形がヤスリミドリイシに似ている

- ① **科名 Family name** : 大きくくりでのグループ、"科"の名称。科で色分けしている。
- ② **属名 Genus name** : 科より小さなグループ、"属"の名称。
- ③ **和名** : 日本語での種の呼び名。(本書では、和名と学名の組み合わせは基本的に海洋生物多様性データベース*に従った。)
- ④ **学名** : 世界共通で使われる名前。「属名 + 種小名」で示され、他の単語と区別するために斜体で示されることが多い。同じつづり、あるいは似た名前と区別するため、「新種として発表した人 + 発表された年」をつけることがならわしとなっている。
- ⑤ **標本番号、撮影場所** : 本書に掲載したサンゴは、写真撮影後に標本を採集した。骨格標本は喜界島サンゴ礁科学研究所に収められている。本書におけるサンゴの同定・分類に興味を持たれた方は、実際に標本を観察していただければ幸いです。
- ⑥ **一言解説** : 種を見分ける際のヒント。
- ⑦ **遠景 vs 拡大** : 基本的に、遠景写真を左、拡大写真を右に示してある。アイコンは、 : 遠景写真  : 拡大写真。群体の形の違いが重要なグループと、個体の形など細部の違いも重要なグループがある。必要に応じて活用してほしい。
- ⑧ **種内変異の例** : 同じ種と同定されたが色や形が違う群体については、その写真をあわせて掲載した。

* 海洋生物多様性データベース BISMAL (<https://www.godac.jamstec.go.jp/bismal/j/>)
WoRMS (<http://www.marinespecies.org>)

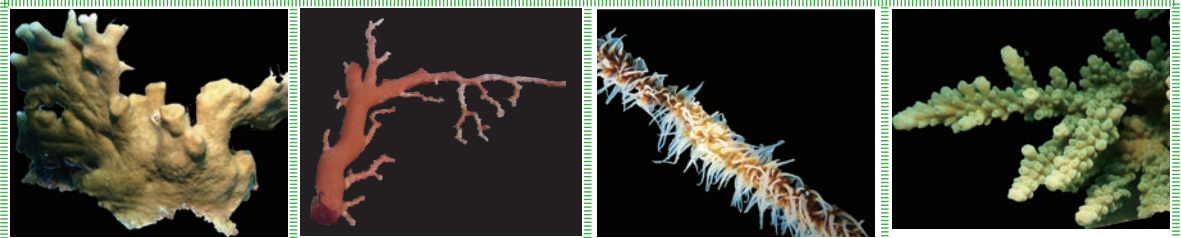
サンゴとは

サンゴとは： ^{かた ほね}硬い骨を作る ^{しほうどうぶつ}刺胞動物の ^{そうしやう}総称



↑ 図 1：「サンゴ」を含む「刺胞動物」のなかまの関係性

□：太枠で囲ったグループに「サンゴ(=硬い骨をもつ刺胞動物)」のなかまが含まれる。



- ① ヒドロ虫：グループとしてはクラゲのなかま。ごく一部のグループのみ骨を作る。
- ② 八放サンゴ：宝石サンゴやソフトコーラルのなかま。
- ③ ツノサンゴ：ブラックコーラルと呼ばれる宝石サンゴのなかまを含む。
- ④ 伊シサンゴ：白い骨を作る。暖かく浅い海で「サンゴ」と呼ばれる種の多くは、これ。
- ⑤ スナギンチャク：深海にすむ種のごく一部のみ骨をつくり、その色からゴールドコーラルと呼ばれる。

刺胞とは：毒針のカプセル



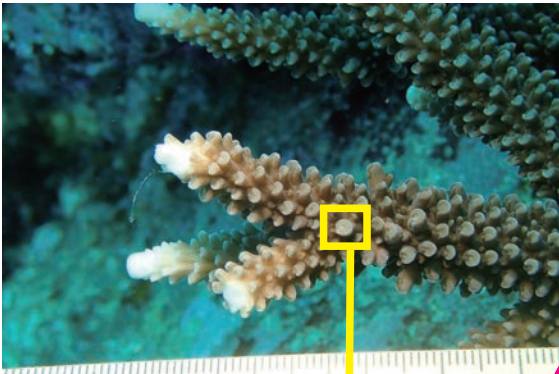
← 図 2：顕微鏡で見た刺胞

刺胞とは、刺胞動物のみが細胞のなかにもつ、微小なカプセルのこと。シャフトと呼ばれる針のような糸を射出し、カプセル内の毒などを対象物に注入する。サンゴも刺胞動物のなかまなので、全ての種が触手など体中に刺胞を持っている。

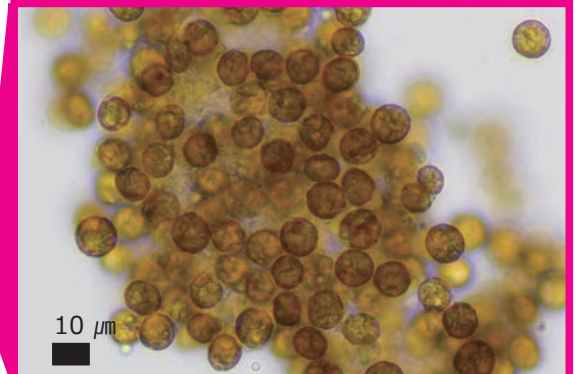
ゆうそうせい たいない そうるい きょうせい そうしょう
有藻性サンゴとは：体内に藻類を共生させるサンゴの総称

サンゴのなかまの多くは、「群体」とよばれる、ぶんれつ しゅつが しょう
 個体が連なったものを形成している(図3)。生きているサンゴの個体を拡大して見ると、
 しょうしゅ も
 触手を持ったイソギンチャクのようなかたちをしている(図4)。

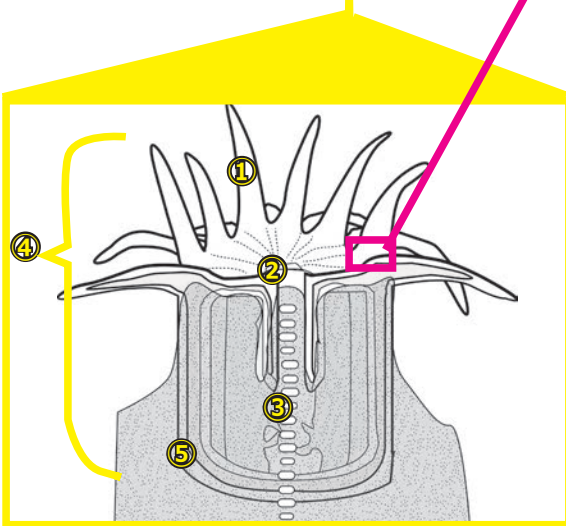
サンゴと呼ばれるなかまのうち、はんすうちが しゅ なか かっちゅうそう
 藻類を持っている。褐虫藻は光を使って栄養を作り、「有藻性サンゴ」は褐虫藻が作っ
 えいよう つか い たが えいきょう かんけい きょうせい
 た栄養を使う。このように、生きるために互いに影響しあう関係を「共生」という。



↑ 図3：サンゴの群体の例



↑ 図5：有藻性サンゴに共生する褐虫藻



↑ 図4：サンゴの個体縦断面の模式図

- ① 触手：手のように餌を口に運んだり、より多くの光を浴びるために広げたりする。伸び縮みする。
- ② 口：餌を食べ、排泄物を出し、子供をつくるための卵や精子を放出する。すべて同じ孔=口で行う。
- ③ 胃腔：口から繋がるきんちやく袋状の場所。餌をとかしたり、攻撃のための特殊な道具がある場所。

⑤ 骨格：硬い骨の部分。有藻性サンゴの場合、その多くは炭酸カルシウムという物質で作られている。

④ 軟体部：柔らかい肉の部分。多くの場合、骨に埋もれている。死ぬと崩れてなくなる。

自分でサンゴを見分けてみよう



①

① 海で観察する時、「群体のかたち」や「個体のな
らび方」、「個体のかたち」に注目する。「色」や
「環境」も役立つかもしれない。カメラがあれば、
群体の全体写真と個体の拡大写真を撮っておく。

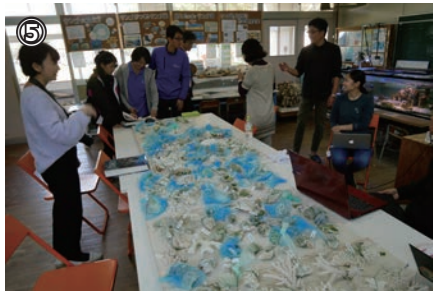


②～④

② 図鑑をパラパラながめて、なんとなく形が似て
いるグループを探す。

③ 解説文を参考に、それぞれの種の特徴を見比べ
る。完全に同じでなくても、おおよその特徴が
合うものを探そう。

④ 図鑑に載っていない種や、同じ種でも少し違う
特徴を持っている場合もある。複数の図鑑を
見比べ、必要ならば専門家に問合せよう。



⑤

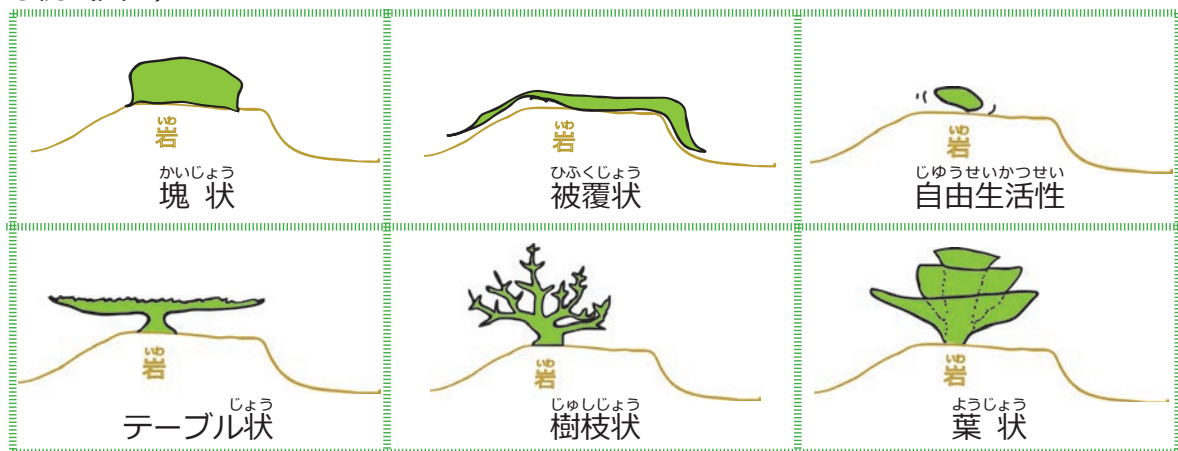
⑤ 骨にしないと見えない特徴も多い。海岸で拾っ
た骨は、研究所等に保管されている標本と見比
べてみると良い。

注) 他の専門書と本書を比べる時には、の印の専門用語も覚えておくと良い。

注) サンゴを採ったり拾ったりする時は、地域のルールに従おう。

かたち注目！ ①～群体のかたち～

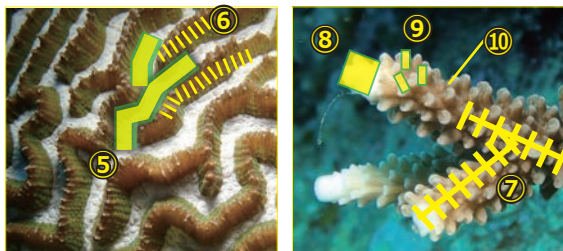
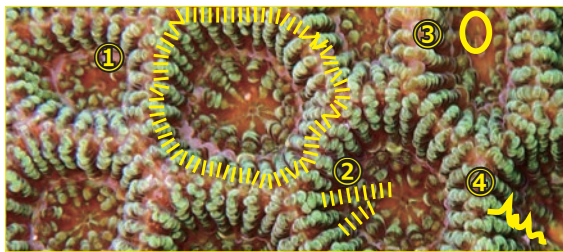
サンゴは、種ごと、あるいは生息環境ごとに「群体」のかたちが違う。群体のかたちも、
種を見分ける大事な特徴の一つ。下の図は、有藻性サンゴが作る群体のかたちの代表的
な例 (図6)。



↑ 図6：サンゴの群体のかたちの例

かたち注目！②～^{こたい}個体のかたち～

サンゴは、「種」や「属」ごとに^{こたい}個体のかたちが異なる(図7)。調べたいサンゴの^{こたい}個体が、どの特徴を持っているか、また、それぞれの^{ぶい}部位の形の^{ちが}違いや^{おお}大きさ、^{かず}数などを^{みくら}見比べると^よ良い。

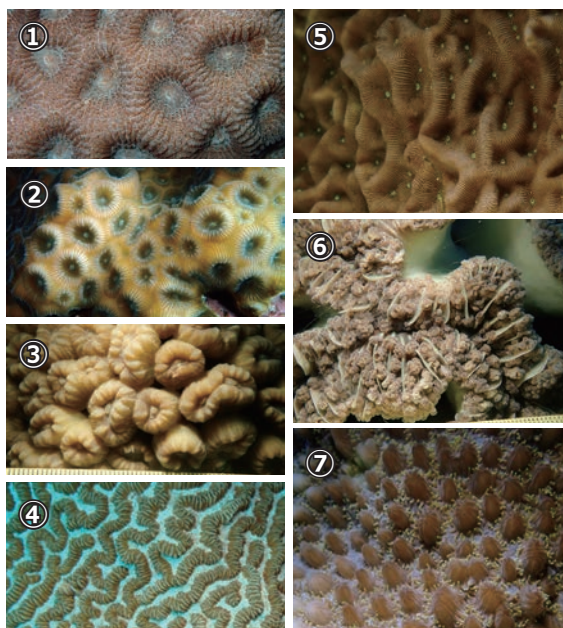


↑図7: ^{こたい}サンゴ個体のかたち

- ① ^{こたい}個体間の"壁" [専] ^{かべ}茨壁
- ② ^{こたい}個体内部の"仕切り" [専] ^{しき}隔壁
- ③ □
- ④ ^{しき}仕切りの^{うえ}上のギザギザ [専] ^{きよし}鋸歯
- ⑤ ^{たに}谷
- ⑥ ^{うね}畝 [専] ^{コリン}コリン
- ⑦ ^{えだ}枝
- ⑧ ^{えだ}枝^{せんたん}先端の^{こたい}個体 [専] ^{ちゅうじく}中軸サンゴ^{こたい}個体
- ⑨ ^{えだ}枝^{まわり}まわりの^{こたい}個体 [専] ^{ほうしや}放射サンゴ^{こたい}個体
- ⑩ ^{こたい}個体の^{あいだ}あいだ [専] ^{きようこつ}共骨・^{きんう}共内部

かたち注目！③～^{こたい}個体のならびかた～

^{こたい}個体の^{なら}並び方の^{ちが}違いも、サンゴの^{ぐるーぷ}グループ、特に^{とく}種よりも^{おお}大きい^{わけ}分け方、^{ぞく}属を見分けるのに^{やくだ}役立つ^{とき}時もある(図8)。

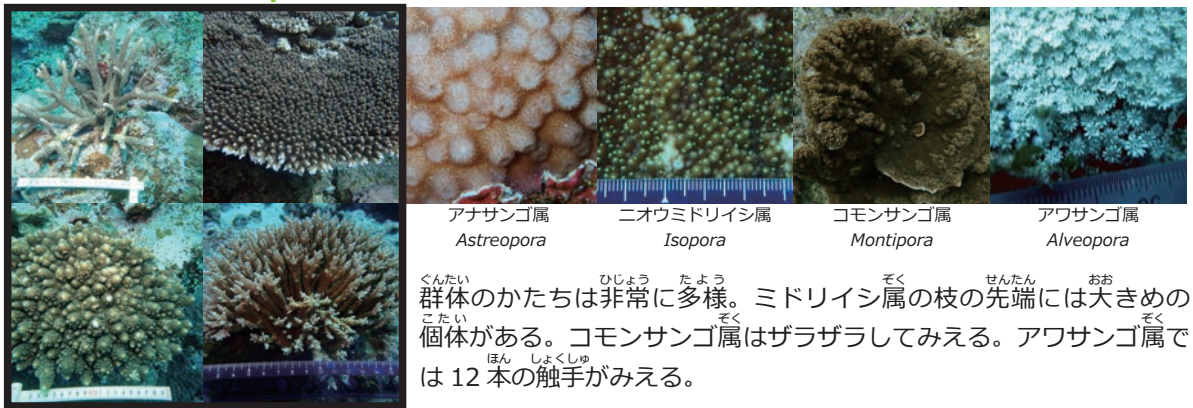


↑図8: ^{こたい}サンゴ個体の^{ならび}ならびかたの例

- ① ^{こたい}個体同士が^{かべ}壁を^{きょうゆう}共有する。[専] ^{セリオイド}セリオイド
- ② ^{こたい}個体が^{どくりつ}独立。[専] ^{プロコイド}プロコイド
- ③ ^{こたい}個体が^{はな}離れ、^{えだ}枝状に^{のび}伸びる。[専] ^{ファセロイド}ファセロイド
- ④ ^{つら}連なった^{こたい}個体を^{はさ}挟むように^{かべ}壁ができ、^{うね}畝と^{たに}谷ができる。[専] ^{メアンドロイド}メアンドロイド
- ⑤ ^{こたい}個体の^{あいだ}間に^{かべ}壁は^な無い(ゆるやかな^{うね}畝になる^{しゆ}種もいる)。[専] ^{サムナステロイド}サムナステロイド
- ⑥ ^{こたい}個体が^{つら}連なり^{たに}谷ができるが、^{れつ}となりの^{かべ}列とは^{はな}壁が^{はな}離れる。[専] ^{フラベロ-メアンドロイド}フラベロ-メアンドロイド
- ⑦ ^{こたい}個体の^{あいだ}間に^{えんすい}円錐^{みじか}あるいは^{うね}短い^{うね}畝状の^いイボがある。[専] ^{ハイドノフォイド}ハイドノフォイド

ずかん もく か そく とくちょう
この図鑑にのせたイシサンゴ目の科や属の特徴

ミドリイシ科 Acroporidae 5 属



アナサンゴ属 *Astreopora* ニオウミドリイシ属 *Isopora* コモンサンゴ属 *Montipora* アワサンゴ属 *Alveopora*

群体のかたちは非常に多様。ミドリイシ属の枝の先端には大きめの
個体がある。コモンサンゴ属はザラザラしてみえる。アワサンゴ属で
は 12 本の触手がみえる。

ミドリイシ属 *Acropora*

ヒラフキサンゴ科 Agariciidae 4 属



ヨロンキクメイシ属 *Coeloseris* センベイサンゴ属 *Leptoseris* リュウモンサンゴ属 *Pachyseris* シコロサンゴ属 *Pavona*

ヨロンキクメイシ属以外は板状か
ら葉状の群体が多い。センベイサ
ンゴ属は暗がりや深いところに多
い。リュウモンサンゴ属はしわし
わが特徴。シコロサンゴ属は垂直
な板状になる種もいる。

ムカシサンゴ科 Astrocoeniidae 1 属



ムカシサンゴ属
Stylocoeniella

被覆状の群体が多い。暗がり
で多くみられる。個体の端に小
さなトゲがある。個体は非常に小
さい。

キサンゴ科 Dendrophylliidae 1 属



スリパチサンゴ属
Turbinaria

テーブル状や板状の群体になる。
全体的に表面がつるつるしている
印象。個体は比較的大きく、筒の
ようなかたちをしている。

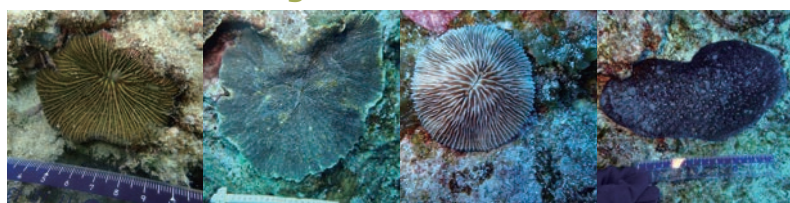
ハナサンゴ科 Euphylliidae 3 属



ハナサンゴ属 *Euphyllia* ナガレハナサンゴ属 *Fimbriaphyllia* アザミサンゴ属 *Galaxea*

いつも触手を伸ばして華やかなみためのグルー
プ。属や種の区別には触手のかたちが重要。個体が
たくさんつながっているか、そうでないかも属や種
を区別する特徴になる。ハナサンゴ属とナガレハナ
サンゴ属の個体はとて大きい。

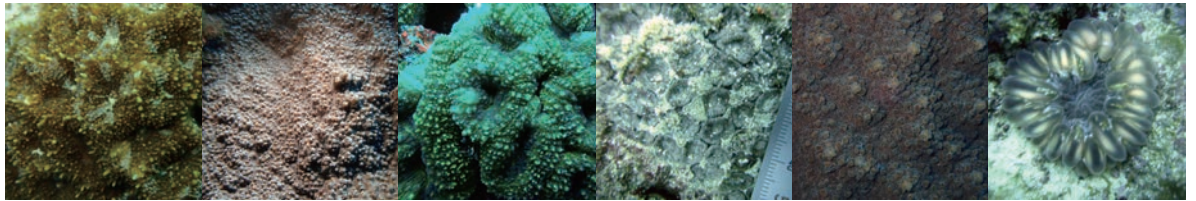
クサビライシ科 Fungiidae 4 属



シタザラクサビライシ属 *Fungia* カワラサンゴ属 *Lithophyllon* ゾウリイシ属 *Pleuractis* ヘルメットイシ属 *Sandalolitha*

口を中心として放射状に広がる
仕切りが目だつ。岩にくっつくか
自由生活性か、口が一つか複数か
で属をある程度区別できる。キノコ
のかさに似ているので英語ではマツ
シュルームコーラルと呼ばれる。

オトゲサンゴ科 Lobophylliidae 6属



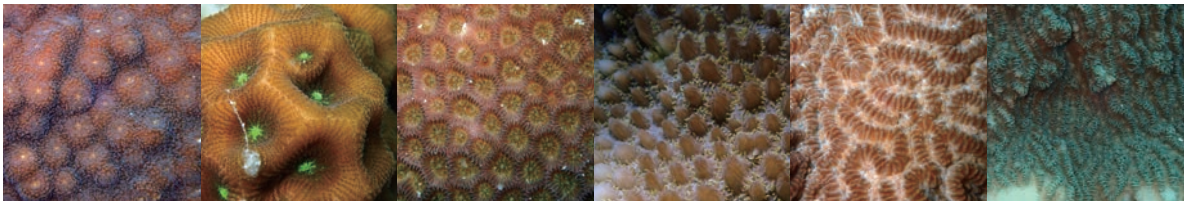
オトゲサンゴ属 *Acanthastrea* キッカサンゴ属 *Echinophyllia* ハナガタサンゴ属 *Lobophyllia* コオトゲキクメイシ属 *Micromussa* アナキッカサンゴ属 *Oxypora* コハナガタサンゴ属 *Cynarina*

サザナミサンゴ科 Merulinidae 15属

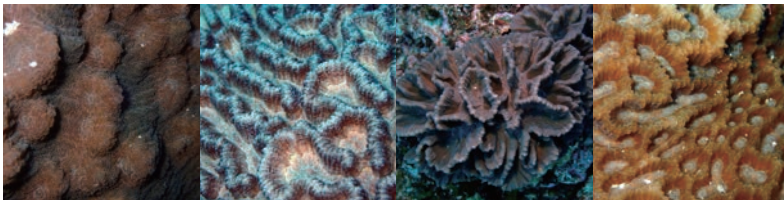


マルキクメイシ属 *Astrea* タバナサンゴ属 *Caulastraea* パリカメノコキクメイシ属 *Coelastrea* トゲキクメイシ属 *Cyphastrea* キクメイシ属 *Dipsastraea*

群体は被覆状か塊状。個体は大きく、ぶよぶよした肉質。トゲがよく発達する。



リュウキュウキッカサンゴ属 *Echinopora* カメノコキクメイシ属 *Favites* コカメノコキクメイシ属 *Goniastrea* イボサンゴ属 *Hydnophora* ナガレサンゴ属 *Leptoria* サザナミサンゴ属 *Merulina*



ウスカミサンゴ属 *Mycedium* オオナガレサンゴ属 *Oulophyllia* スジウミバラ属 *Pectinia* ノウサンゴ属 *Platygyra*

属の数が多く区別するのは非常に難しい。しかし、(1) 個体の大きさ、(2) 個体が独立しているのか、互いに壁を共有しているのか、たくさん連なっているのかで、ある程度属を区別できる。

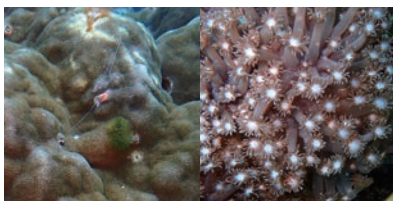
ハナヤサイサンゴ科 Pocilloporidae 3属



ハナヤサイサンゴ属 *Pocillopora* トゲサンゴ属 *Seriatopora* ショウガサンゴ属 *Stylophora*

すべて樹枝状だが、ミドリイシ属のように枝の先端に大きな個体がない。ハナヤサイサンゴ属はごつごつ、トゲサンゴ属はとげとげ、ショウガサンゴ属はなめらかな印象。

ハマサンゴ科 Poritidae 2属



ハマサンゴ属 *Porites* ハナガササンゴ属 *Goniopora*

ハマサンゴ属は個体が非常に小さく表面がなめらかで、巨大な群体となる。ハナガササンゴ属は個体(軟体部)を伸ばしていることが多く、触手が24本。

アミメサンゴ科 Psammocoridae 1属



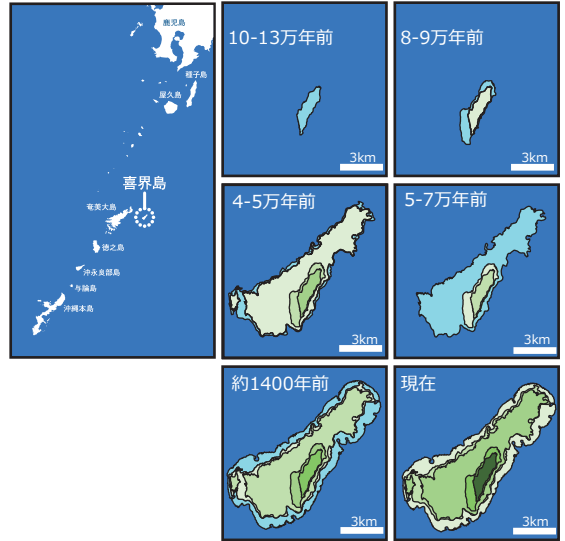
アミメサンゴ属 *Psammocora*

群体表面の凹凸は緻密でザラザラ。個体は小さく、区別が付きにくい。骨をみないと科の特徴がわかりにくい。

きかいじま 喜界島について

りゅうき しょう しま きかいじま 隆起サンゴ礁の島 喜界島

きかいじま あまみくんとろ ほくたん いち しょう
喜界島は奄美群島の北端に位置し、サンゴ礁
が発達できる暖かい海の北限に近く、海から
陸に持ち上がったサンゴ礁「隆起サンゴ礁」
でできた周囲 50 km ほどの小さな島である。
どういど あまみおおしま ぶんぶ ちょう
同緯度の奄美大島には分布しない蝶、オオゴ
マダラの分布北限として知られている。異な
る時代にできた隆起サンゴ礁が、それぞれ島
の違う高さに残されており、階段状の地形「サ
ンゴ礁段丘」が存在する。



山崎・渡邊（2016）を参考に作成

きかいじま かたち ちそう 喜界島を形づくる地層

しま ひょうそう せっかいがん
島の表層（石灰岩）

しま きばん だいがん
島の基盤（泥岩）

りゅうき しょう
隆起サンゴ礁

さでくかいがん
佐手久海岸



やく ねんまえいこう
(約 7,500 年前以降)
地殻変動などで地面が持
ち上がる隆起により、海
から持ち上がったサンゴ
礁「隆起サンゴ礁」が島
の周囲に存在する。

りゅうきゅうそうぐん
琉球層群

すいてんくうやま なんたん
水天宮山の南端



サンゴなどの化石から
なる石灰岩は、年代と固
さなどの違いから、下部
の百之台層 (40-85
万年前) と上部の湾層 (4-15
万年前) に 2 分されている。

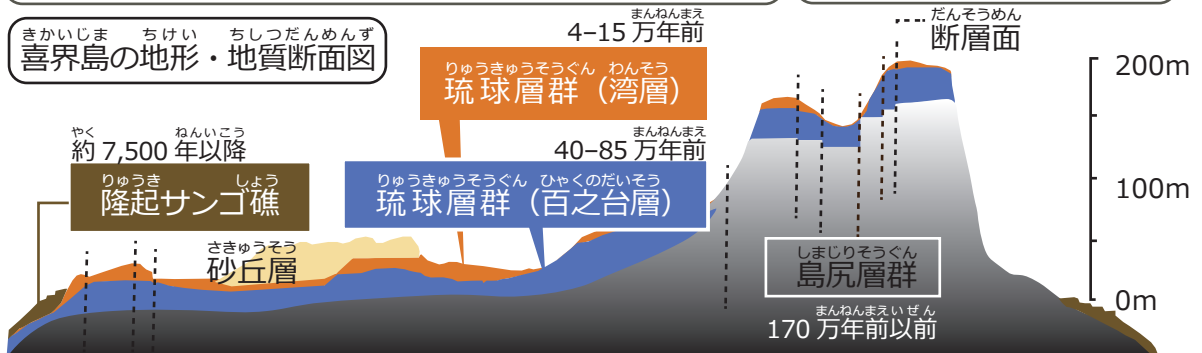
しまじりそうぐん
島尻層群

いさご ばいこく
伊砂の溪谷



(170 万年前以前)
島の基盤となる地層で、
大陸から運ばれた細かい
土砂から構成される。

きかいじま ちけい ちしつだんめんす
喜界島の地形・地質断面図



Ota and Omura (1992) を参考に作成

しょう めぐ かつよう ぶんか サンゴ礁の恵みを活用した文化

きかいじま ひとびと みる かせき せきざい りよう
喜界島の人々は古くからサンゴの化石を石材として利用してきた。

く なが ね づ かみさま まつ かせき
暮らしの中にはサンゴが根付き、神様として祀られているサンゴの化石もあるなど、

しょう めぐ う しょうぶんか おお のこ
サンゴ礁からの恵みを受けた「サンゴ礁文化」が多く残されている。



いも あら はち
芋などを洗う鉢（フムラー、トーニ）
ハマサンゴなどをくり抜き作られる。



水神様（すいじんさま、みずかみさま）
ハマサンゴ化石で御神体が覆われている。



いしがき
サンゴの石垣
サンゴの化石を積みあげ作られている。



さま
ビンドウン様
御神体がノウサンゴ属の化石である。

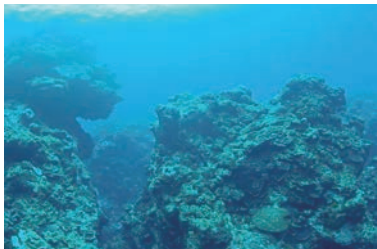
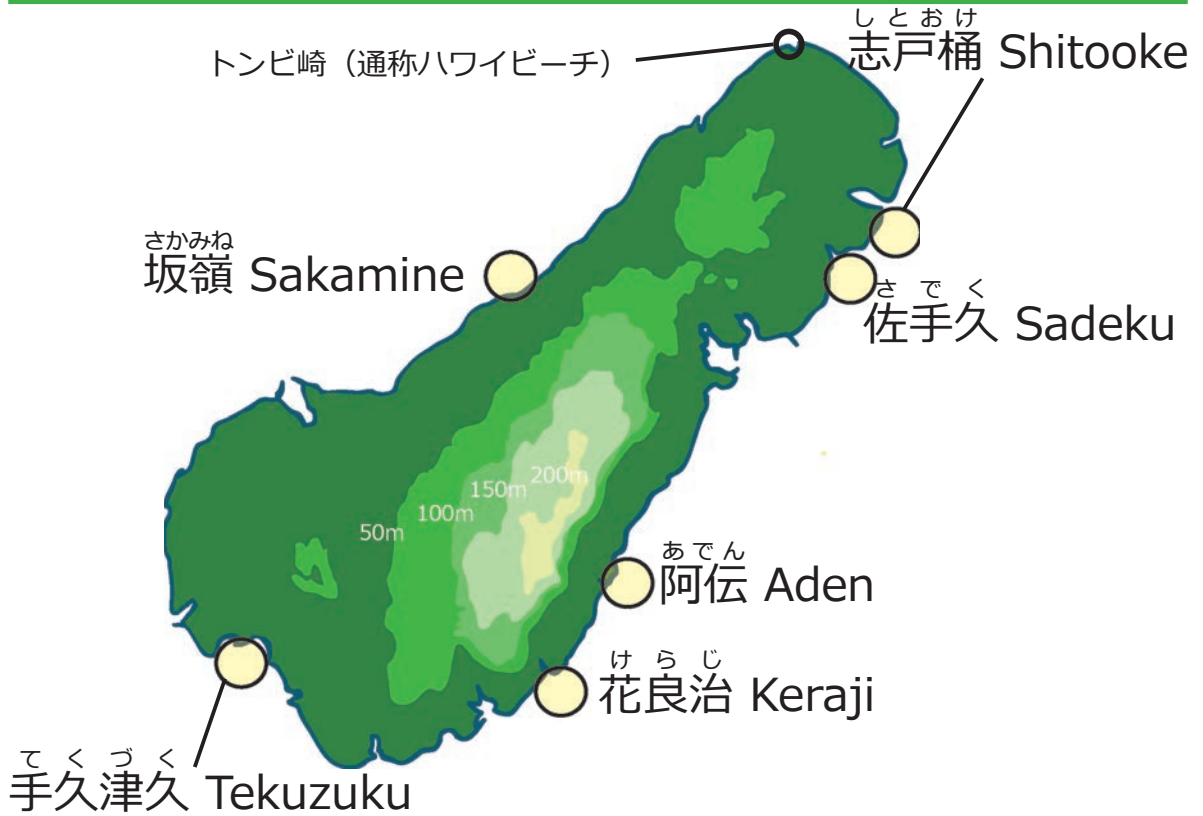


かせき はないし
ハマサンゴ化石でできた墓石
はないし そくめん ねんりん
墓石の側面にサンゴの年輪がみえる。



つか てあそ
サンゴを使った手遊び（ティーツ）
サンゴの小さいつかむかしあそ
サンゴの小さいつかむかしあそ
サンゴの小さいつかむかしあそ
サンゴの小さいつかむかしあそ

ちょうさちてん
調査地点について



けらじ
花良治 Keraji

ちょうさちてん
調査日時：2011年1月22日
2020年2月19日

けいかん しおどお よ しょうしゃめん
景観：やや潮通しが良い礁斜面と、
き こ い え
切れ込んだ入り江。



あでん
阿伝 Aden

ちょうさちてん
調査日時：2020年2月20日

けいかん しゃへいてき しょうえん そと
景観：やや遮蔽的な礁縁の外に
されきてい はさ あさ ね と かこ
砂礫底を挟み、浅い根が取り囲む。



さでく
佐手久 Sadeku

ちょうさちてん
調査日時：2011年1月24日

けいかん ちい い え しおどお
景観：小さい入り江、やや潮通し
しょうえん みじか みぞ たに はし
良い礁縁に短い溝と谷が走る。



しとおけ
志戸桶 Shitooke

ちょうさちてん
調査日時：2020年2月20日

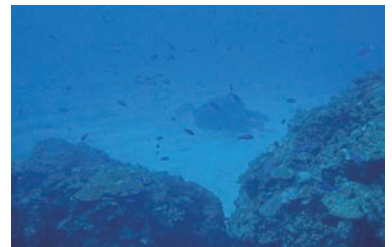
けいかん しおどお よ しょうしゃめん
景観：潮通し良くなだらかな斜面
たよう こんしゅう ひろ
に多様なサンゴ群集が広がる。



さかみね
坂嶺 Sakamine

ちょうさちてん
調査日時：2020年2月21日

けいかん あさ へいたん しやめん せま たに
景観：浅く平坦な斜面に狭い谷が
はし すなち ね こんざい
走り、外には砂地と根が混在。



てくづく
手久津久 Tekuzuku

ちょうさちてん
調査日時：2011年1月23日

けいかん しおどお りょうこう みじか しょうえん
景観：潮通し良好。短めの礁縁か
おきあい すなち きゅう ふか
ら沖合の砂地へと急に深くなる。

サンゴの種の説明

【イシサンゴ目 Scleractinia (花虫綱六放サンゴ亜綱)】

- ミドリイシ科 Acroporidae 5属 37種
- ヒラフキサンゴ科 Agariciidae 4属 7種
- ムカシサンゴ科 Astrocoeniidae 1属 1種
- キサンゴ科 Dendrophylliidae 1属 2種
- ハナサンゴ科 Euphylliidae 3属 5種
- クサビライシ科 Fungiidae 4属 5種
- オオトゲサンゴ科 Lobophylliidae 6属 13種
- サザナミサンゴ科 Merulinidae 15属 38種
- ハナヤサイサンゴ科 Pocilloporidae 3属 6種
- ハマサンゴ科 Poritidae 2属 11種
- アミメサンゴ科 Psammocoridae 1属 1種
- 科所属不明 Family *incertae sedis* 1属 1種

【アオサンゴ目 Helioporacea (花虫綱八放サンゴ亜綱)】

- アオサンゴ科 Helioporidae 1属 1種

【ハナクラゲ目 Anthoathecata (ヒドロ虫綱)】

- アナサンゴモドキ科 Milleporidae 1属 2種

注) 上記の属数・種数は、この図鑑に掲載されている数

次のページからの写真や解説を参考に、
サンゴの種を見分け、名前をつけてみよう!

ミドリイシ科 Acroporidae



ミドリイシ属 *Acropora* KICRS-L-00001, 花良治, 10 m

トゲマツミドリイシ

Acropora abrotanoides (Lamarck, 1816)



KICRS-L-00001, 花良治, 10 m

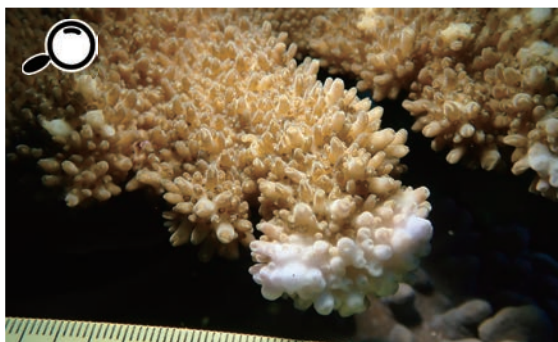
● 枝はかなり太く、先端近くで細かく枝分かれする ● 枝側面の個体は不揃いで、枝の端近くでは長くなる



ミドリイシ属 *Acropora* KICRS-L-00002, 阿伝, 11 m

トゲマツミドリイシ

Acropora abrotanoides (Lamarck, 1816)



KICRS-L-00002, 阿伝, 11 m

● 枝同士が癒合し平板な樹枝状にもなる ● 群体形がヤスリミドリイシに似ている



ミドリイシ属 *Acropora* KICRS-L-00003, 志戸桶, <10 m

ハリエダミドリイシ

Acropora aculeus (Dana, 1846)



KICRS-L-00003, 志戸桶, <10 m

● 細い枝が均等に広がる ● 枝自体はゆがんでいる ● 触手を伸ばしていることが多い



ミドリイシ属 *Acropora* KICRS-L-00004, 志戸桶, 13 m

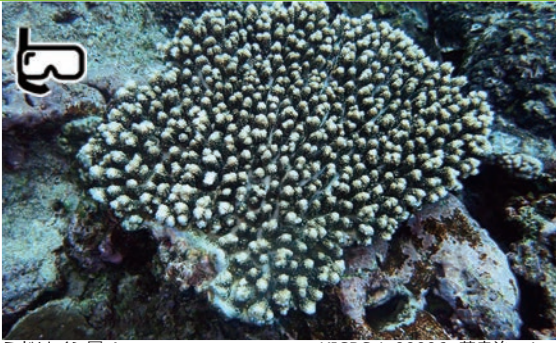
コイボミドリイシ

Acropora austera (Dana, 1846)



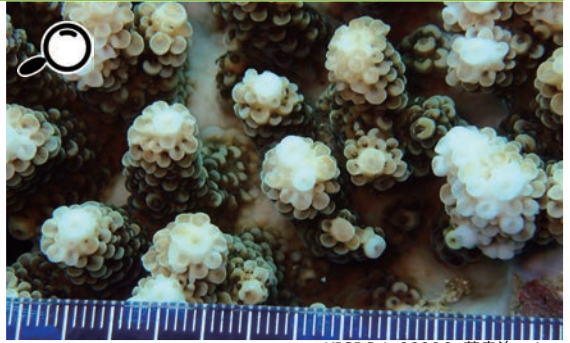
KICRS-L-00004, 志戸桶, 13 m

● 枝は太い ● 個体が丸みを帯びているため、ゴツゴツに見える



ミドリイシ属 *Acropora* KICRS-L-00006, 花良治, 4 m

コユビミドリイシ
Acropora digitifera (Dana, 1846)



KICRS-L-00006, 花良治, 4 m

- 大きさがそろった個体が並ぶ
- 枝の根元は白く硬い



ミドリイシ属 *Acropora* KICRS-L-00007, 花良治, 2 m

ドーンミドリイシ
Acropora donei Veron & Wallace, 1984



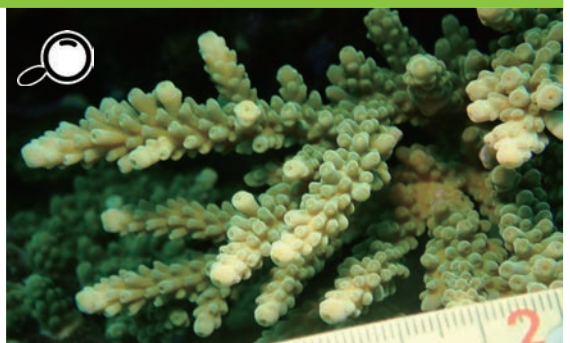
KICRS-L-00007, 花良治, 2 m

- 皿状の個体が並ぶ
- 枝は分岐する
- 先端が紫色であることが多い



ミドリイシ属 *Acropora* KICRS-L-00009, 花良治, 9 m

マルヅツミドリイシ
Acropora elseyi (Brook, 1892)



KICRS-L-00009, 花良治, 9 m

- 枝は不規則に分岐
- 先端が黄色いことが多い
- ツブツブした印象



ミドリイシ属 *Acropora* KICRS-L-00010, 花良治, 2 m

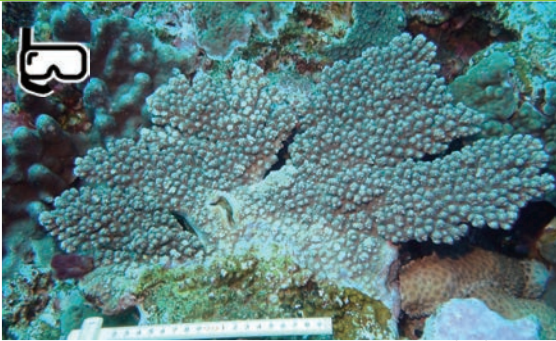
マルヅツミドリイシ
Acropora elseyi (Brook, 1892)



KICRS-L-00010, 花良治, 2 m

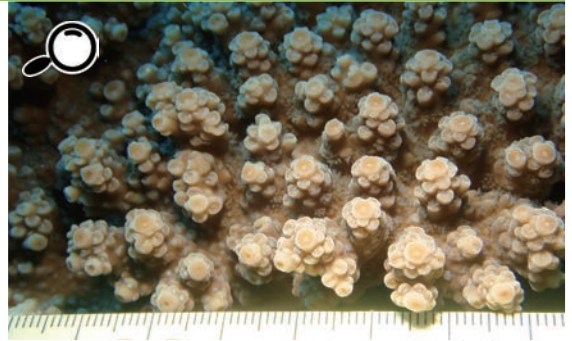
- 小型の群体は、枝ぶりや群体全体の印象が異なってみえることがある

ミドリイシ科 Acroporidae



ミドリイシ属 *Acropora* KICRS-L-00011, 志戸桶, 11 m

サボテンミドリイシ
Acropora florida (Dana, 1846)



KICRS-L-00011, 志戸桶, 11 m

● 板状の枝から多数の短い枝が出てブラシ状になる ● 短い枝に覆われるため全体的にイボイボの印象



ミドリイシ属 *Acropora* KICRS-L-00012, 花良治, 4 m

オヤユビミドリイシ
Acropora gemmifera (Brook, 1892)



KICRS-L-00012, 花良治, 4 m

● 各枝は分岐せず、丸みを帯びた円錐状で太く短い ● 個体は大小 2 形



ミドリイシ属 *Acropora* KICRS-L-00013, 花良治, 4 m

オヤユビミドリイシ
Acropora gemmifera (Brook, 1892)



KICRS-L-00013, 花良治, 4 m

● 群体中央部と辺縁部、長い枝と短い枝で印象が違うことがあるので注意



ミドリイシ属 *Acropora* KICRS-L-00014, 志戸桶, 23 m

ツツハナガサミドリイシ
Acropora granulosa (Milne Edwards, 1860)



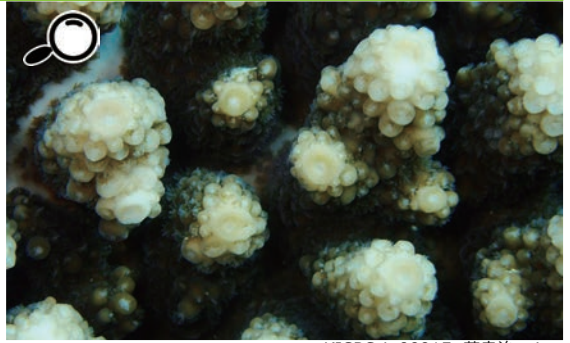
KICRS-L-00014, 志戸桶, 23 m

● 枝分かれしつつ小枝が広がる ● 先端に先細りの個体が多い



ミドリイシ属 *Acropora* KICRS-L-00015, 花良治, 4 m

ツツユビミドリイシ
Acropora humilis (Dana, 1846)



KICRS-L-00015, 花良治, 4 m

- 先が丸く太くて長い指状の枝
- 枝の根元と先端で太さが変わらない
- 枝周りの個体の大きさが同じ



ミドリイシ属 *Acropora* KICRS-L-00016, 花良治, 1 m

クシハダミドリイシ
Acropora hyacinthus (Dana, 1846)



KICRS-L-00016, 花良治, 1 m

- テーブル状
- 先端から見ると個体が整然と並ぶ



ミドリイシ属 *Acropora* KICRS-L-00017, 花良治, 4 m

クシハダミドリイシ
Acropora hyacinthus (Dana, 1846)



KICRS-L-00017, 花良治, 4 m

- 種子島以南では別名ナンヨウミドリイシ
- *A. spicifera* との区別が難しく分類学的に要検討



ミドリイシ属 *Acropora* KICRS-L-00018, 花良治, 5 m

トゲスギミドリイシ
Acropora intermedia (Brook, 1891)



KICRS-L-00018, 花良治, 5 m

- 樹枝状
- 枝まわりの個体には大小 2 形あり
- 触るとヌルツとする

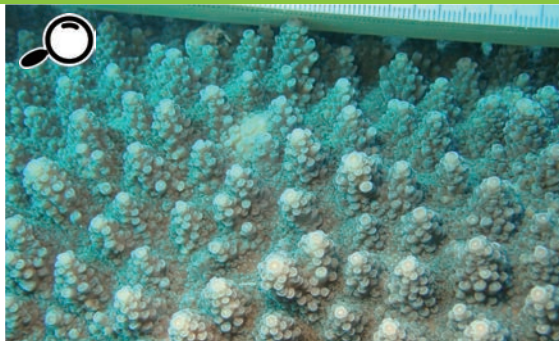
ミドリイシ科 Acroporidae



ミドリイシ属 *Acropora* KICRS-L-00019, 花良治, 8 m

ニホンミドリイシ

Acropora japonica Veron, 2000



KICRS-L-00019, 花良治, 8 m

- テーブル状
- 枝が非常に短く先端の個体が大きい
- 九州以北では普通種だが、喜界島では稀



ミドリイシ属 *Acropora* KICRS-L-00020, 志戸桶, 21 m

キクハナガサミドリイシ

Acropora latistella (Brook, 1892)



KICRS-L-00020, 志戸桶, 21 m

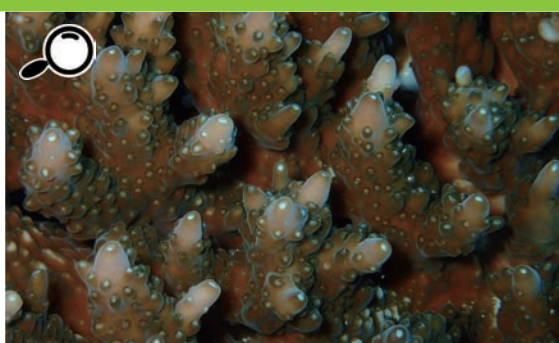
- テーブル状
- 横に伸びた枝から小枝が直立
- 白い触手を伸ばす



ミドリイシ属 *Acropora* KICRS-L-00032, 志戸桶, 23 m

マルヅツハナガサミドリイシ

Acropora loripes (Brook, 1892)



KICRS-L-00032, 志戸桶, 23 m

- 先端の個体は丸く突出する
- 枝まわりの個体も丸いが小さい



ミドリイシ属 *Acropora* KICRS-L-00021, 志戸桶, 22 m

ホソヅツハナガサミドリイシ

Acropora microclados (Ehrenberg, 1834)



KICRS-L-00021, 志戸桶, 22 m

- テーブル状
- 長い枝から小枝が直立して分岐
- 先端の個体が長く伸びる
- 別名マツバミドリイシ



ミドリイシ属 *Acropora* KICRS-L-00022, 花良治, 1 m

スギノキミドリイシ

Acropora muricata (Linnaeus, 1758)



KICRS-L-00022, 花良治, 1 m

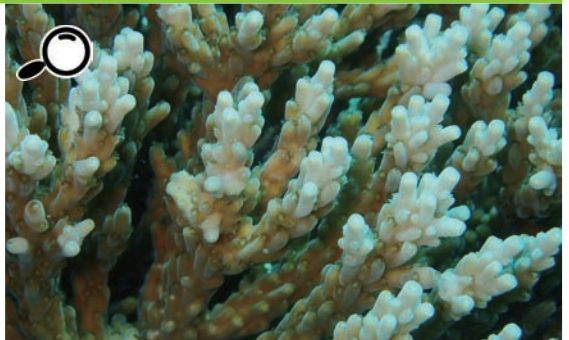
- 先細りの枝が長く伸びる
- 先端の個体が突出する
- 枝回りの個体は基本的に筒状、大きさは不均一



ミドリイシ属 *Acropora* KICRS-L-00023, 花良治, 6 m

スゲミドリイシ

Acropora nana (Studer, 1878)



KICRS-L-00023, 花良治, 6 m

- 枝分かれしない繊細な枝が基部から伸びる
- 全体的に華奢な印象



ミドリイシ属 *Acropora* KICRS-L-00024, 花良治, 3 m

ハナガサミドリイシ

Acropora nasuta (Dana, 1846)



KICRS-L-00024, 花良治, 3 m

- 枝の先端で下側が伸びた個体が並び、花笠紋のようにみえる



ミドリイシ属 *Acropora* KICRS-L-00025, 花良治, <1 m

オトメミドリイシ

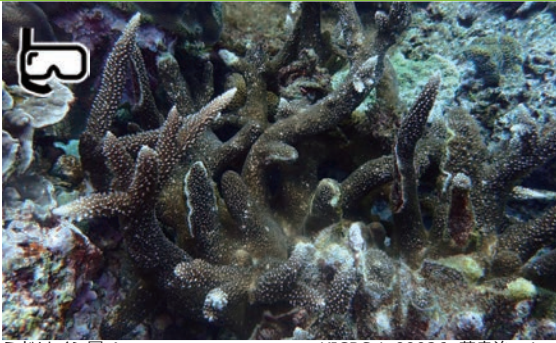
Acropora pulchra (Brook, 1891)



KICRS-L-00025, 花良治, <1 m

- 樹枝状
- 個体が小さく枝の表面がやすりのようにみえる
- 個体は大小2形が混在
- 浅いところに多い

ミドリイシ科 Acroporidae



ミドリイシ属 *Acropora* KICRS-L-00026, 花良治, 4 m

ヤスリミドリイシ
Acropora robusta (Dana, 1846)



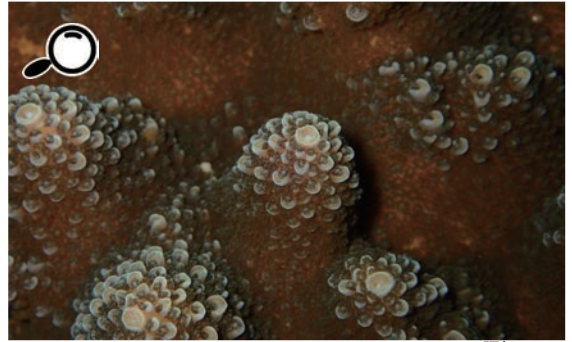
KICRS-L-00026, 花良治, 4 m

- 樹枝状
- 枝は太く強固
- 表面が粗くザラザラした印象



ミドリイシ属 *Acropora* KICRS-L-00027, 阿伝, 5 m

ヤスリミドリイシ
Acropora robusta (Dana, 1846)



KICRS-L-00027, 阿伝, 5 m

- 短い枝と長く成長した枝で形が違ってみえることがあるので注意



ミドリイシ属 *Acropora* KICRS-L-00028, 阿伝, 10 m

トゲホソエダミドリイシ
Acropora secale (Studer, 1878)



KICRS-L-00028, 阿伝, 10 m

- 枝別れは2回まで
- 先端の個体は壁が厚く丸まってる



ミドリイシ属 *Acropora* KICRS-L-00029, 志戸桶, 12 m

ウスエダミドリイシ
Acropora tenuis (Dana, 1846)



KICRS-L-00029, 志戸桶, 12 m

- 先端から見ると皿状の個体が放射状に並んでいる



ミドリイシ属 *Acropora* KICRS-L-00030, 花良治, 13 m

ホソエダミドリイシ
Acropora valida (Dana, 1846)



KICRS-L-00030, 花良治, 13 m

●先端の個体はあまり突出しない ●枝の周りに球がついたようにみえる



アナサンゴ属 *Astreopora* KICRS-L-00034, 志戸桶, 23 m

センバイアナサンゴ
Astreopora gracilis Bernard, 1896



KICRS-L-00034, 志戸桶, 23 m

●個体は不規則で、突出の度合いや向きは不揃い ●デコボコした印象



アナサンゴ属 *Astreopora* KICRS-L-00035, 志戸桶, 23 m

アナサンゴ
Astreopora myriophthalma (Lamarck, 1816)



KICRS-L-00035, 志戸桶, 23 m

●個体はやや突出するが、形状はそろっており整然と並ぶ



ニオウミドリイシ属 *Isopora* KICRS-L-00036, 花良治, 2 m

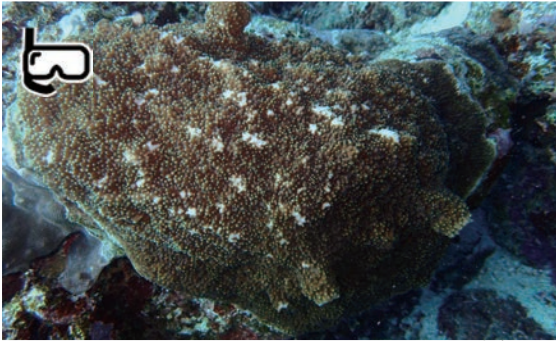
クサビニオウミドリイシ
Isopora cuneata (Dana, 1846)



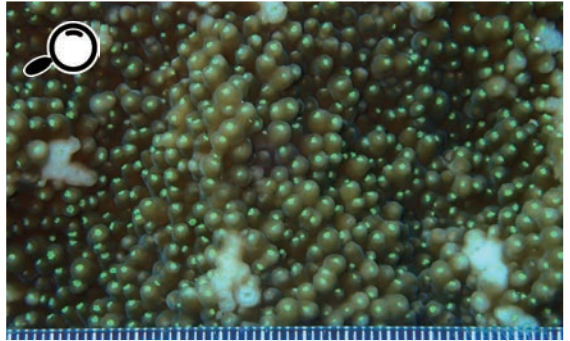
KICRS-L-00036, 花良治, 2 m

●主に被覆状 ●個体の開口部はきれいな円形 ●コブの先端と側面の個体は同じ形状

ミドリイシ科 Acroporidae



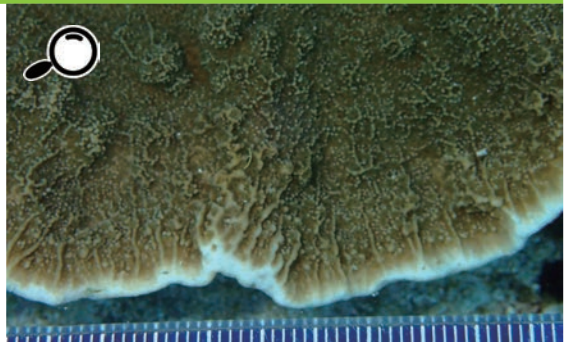
ニオウミドリイシ属 *Isopora* KICRS-L-00037, 花良治, 5 m
クサビニオウミドリイシ
Isopora cuneata (Dana, 1846)



KICRS-L-00037, 花良治, 5 m
● 近似種のニオウミドリイシ *I. palifera* と比べて群体の起伏が小さく、個体が丸い



コモンサンゴ属 *Montipora* KICRS-L-00039, 花良治, 4 m
チヂミウスコモンサンゴ
Montipora aequituberculata Bernard, 1897



KICRS-L-00039, 花良治, 4 m
● 被覆状～葉状 ● 不規則なイボ状突起 ● 辺縁部では突起が部分的に凹状になる



コモンサンゴ属 *Montipora* KICRS-L-00040, 志戸楠, 22 m
コクボミコモンサンゴ
Montipora caliculata (Dana, 1846)



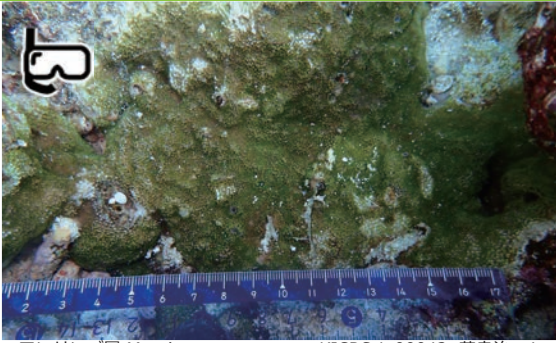
KICRS-L-00040, 志戸楠, 22 m
● 被覆状～葉状 ● 個体を囲むように不規則な凹状突起とイボ状突起が混在 ● かたちで種を見分けるのはむずかしい



コモンサンゴ属 *Montipora* KICRS-L-00041, 花良治, <1 m
ウスコモンサンゴ
Montipora foliosa (Pallas, 1766)

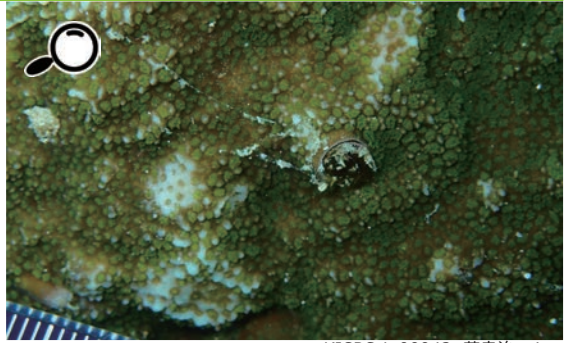


KICRS-L-00041, 花良治, <1 m
● 被覆状～葉状 ● 不規則なイボ状～短い凹状の突起が混在する ● 辺縁部には凹状の突起が並ぶ



コモンサンゴ属 *Montipora* KICRS-L-00042, 花良治, 4 m

モリスコモンサンゴ
Montipora mollis Bernard, 1897



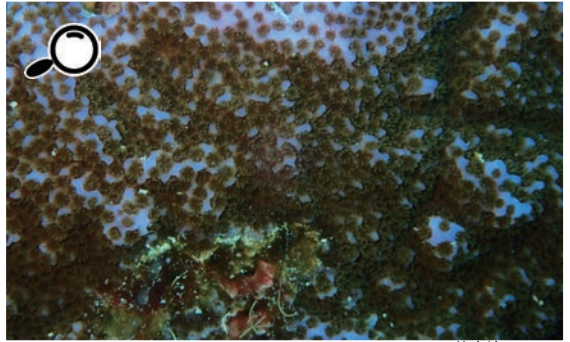
KICRS-L-00042, 花良治, 4 m

●被覆状 ●コブ状突起がところによって散在 ●個体は
群体全面に密に分布、突出しない



コモンサンゴ属 *Montipora* KICRS-L-00043, 花良治, 11 m

モリスコモンサンゴ
Montipora mollis Bernard, 1897



KICRS-L-00043, 花良治, 11 m

●個体および共肉部の色は褐色～緑が多いが、変異がある



コモンサンゴ属 *Montipora* KICRS-L-00045, 花良治, 3-6 m

トゲクボミコモンサンゴ
Montipora monasteriata (Forskål, 1775)



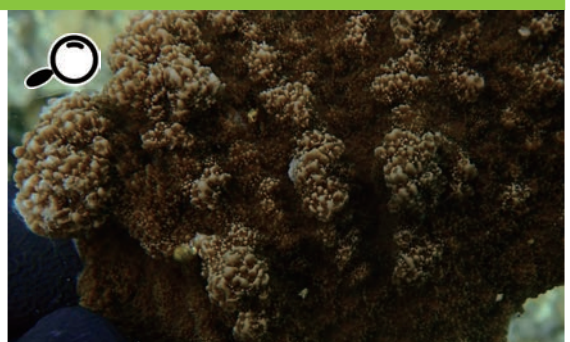
KICRS-L-00045, 花良治, 3-6 m

●被覆状 ●個体は突出しない ●直径 1mm 程度のコブ
状突起が散在する ●小さいトゲに覆われている印象



コモンサンゴ属 *Montipora* KICRS-L-00046, 花良治, <1 m

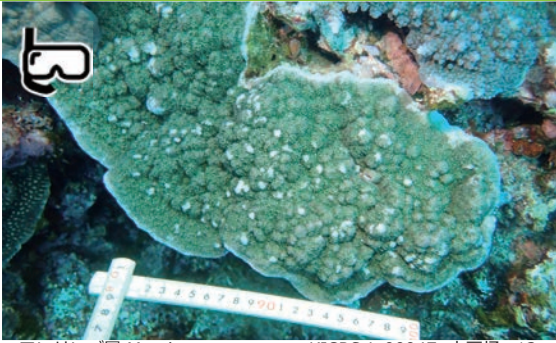
ムラサキコモンサンゴ
Montipora peltiformis Bernard, 1897



KICRS-L-00046, 花良治, <1 m

●被覆状～葉状 ●個体がくぼんでみえる ●均一に散ら
ばる微小な突起は畝状にならない ●ガラガラした印象

ミドリイシ科 Acroporidae



コモンサンゴ属 *Montipora* KICRS-L-00047, 志戸桶, 13 m
ヒメイボコモンサンゴ
Montipora tuberculosa (Lamarck, 1816)



KICRS-L-00047, 志戸桶, 13 m
 ●被覆状～塊状 ●均一に散らばった径 2 mm 程度の丸みをおびた柱状の突起が特徴的 ●別名コツブコモンサンゴ



コモンサンゴ属 *Montipora* KICRS-L-00048, 花良治, 4 m
ホンアバタコモンサンゴ
Montipora turgescens Bernard, 1897



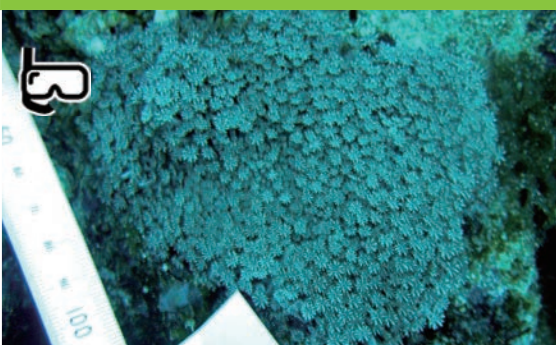
KICRS-L-00048, 花良治, 4 m
 ●被覆状～塊状 ●表面は不規則に盛り上がる ●生時は細かい突起は目立たない



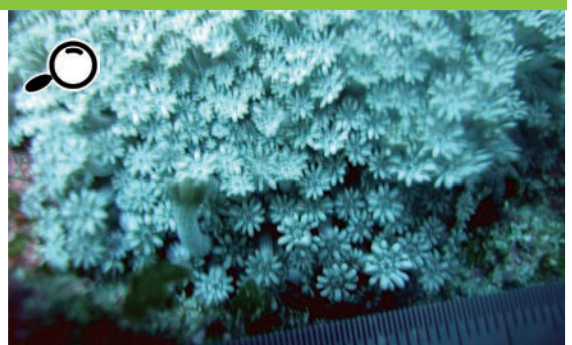
コモンサンゴ属 *Montipora* KICRS-L-00049, 花良治, <6 m
コモンサンゴ属の1種
Montipora turtlensis Veron & Wallace, 1984



KICRS-L-00049, 花良治, <6 m
 ●被覆状～塊状～柱状 ●個体は密に分布 ●生時は丸い柱状突起が散在するようにみえる



アワサンゴ属 *Alveopora* KICRS-L-00231, 佐手久, 27 m
アワサンゴ属の1種
Alveopora excelsa Verrill, 1864



KICRS-L-00231, 佐手久, 27 m
 ●被覆状～塊状 ●個体の軟体部は数 cm 程度伸びる
 ●触手は 12 本 ●かたちで種を見分けるのは難しい



ヨロンキクメイシ属 *Coeloseris* KICRS-L-00051, 花良治, <10 m

ヨロンキクメイシ

Coeloseris mayeri Vaughan, 1918



KICRS-L-00051, 花良治, <10 m

- 被覆状~塊状
- 個体内側の構造が少なく窪んでいる印象
- 浅い場所に多い



センベイサンゴ属 *Leptoseris* KICRS-L-00052, 志戸桶, 27 m

センベイサンゴ

Leptoseris glabra Dinesen, 1980



KICRS-L-00052, 志戸桶, 27 m

- 被覆状~葉状
- 高低2種類の仕切りが交互に並ぶ
- 深場など暗がりに多い



センベイサンゴ属 *Leptoseris* KICRS-L-00053, 花良治, 15 m

アバタセンベイサンゴ

Leptoseris mycetoseroides Wells, 1954



KICRS-L-00053, 花良治, 15 m

- 被覆状~葉状
- 不規則に個体を囲むように畝が発達
- 深場など暗がりに多い



リュウモンサンゴ属 *Pachyseris* KICRS-L-00054, 花良治, 3-5 m

イボリュウモンサンゴ

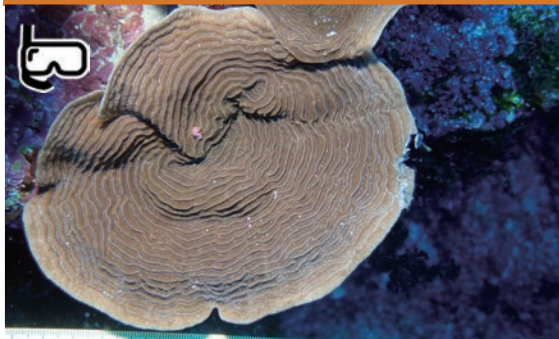
Pachyseris gemmae Nemenzo, 1955



KICRS-L-00054, 花良治, 3-5 m

- 薄い被覆状~板状
- 畝は不規則な筋状で、時として途切れたり連結したりする
- 深場など暗がりに多い

ヒラフキサンゴ科 Agariciidae



リュウモンサンゴ属 *Pachyseris* KICRS-L-00056, 花良治, 13 m

リュウモンサンゴ
Pachyseris speciosa (Dana, 1846)



KICRS-L-00056, 花良治, 13 m

- 切れ込みの少ない葉状
- 畝が平行に同心円状に走る
- 暗い場所に多い



シコロサンゴ属 *Pavona* KICRS-L-00057, 花良治, <1 m

コノハシコロサンゴ
Pavona frondifera (Lamarck, 1816)



KICRS-L-00057, 花良治, <1 m

- 垂直に立ち上がる板状～葉状
- 表面の凹凸は繊細
- 浅瀬に多い



シコロサンゴ属 *Pavona* KICRS-L-00058, 花良治, 15 m

シワシコロサンゴ
Pavona varians (Verrill, 1864)



KICRS-L-00058, 花良治, 15 m

- 被覆状～塊状
- 不規則に短い畝を形成する
- 暗がりが多い

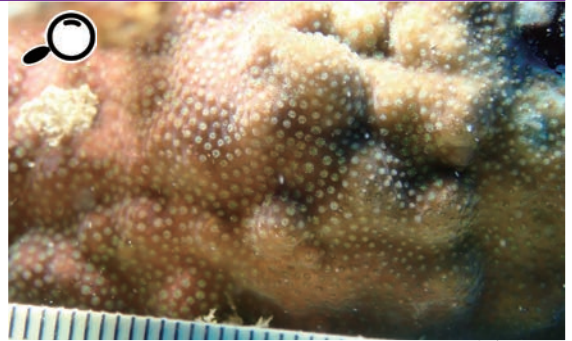
ムカシサンゴ科 Astrocoeniidae



ムカシサンゴ属 *Stylocoeniella* KICRS-L-00095, 花良治, 19 m

ムカシサンゴ

Stylocoeniella guentheri (Bassett-Smith, 1890)



KICRS-L-00095, 花良治, 19 m

- 個体直径は約 1 mm で整然と並ぶ
- 個体の縁に小さな棘が生じる
- 触手は 12 本
- 暗がりが多い

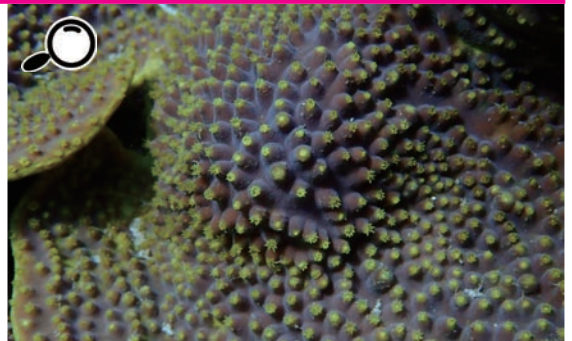
キサソゴ科 Dendrophylliidae



スリバチサンゴ属 *Turbinaria* KICRS-L-00059, 坂嶺, 6 m

ウネリスリバチサンゴ

Turbinaria frondens (Dana, 1846)



KICRS-L-00059, 坂嶺, 6 m

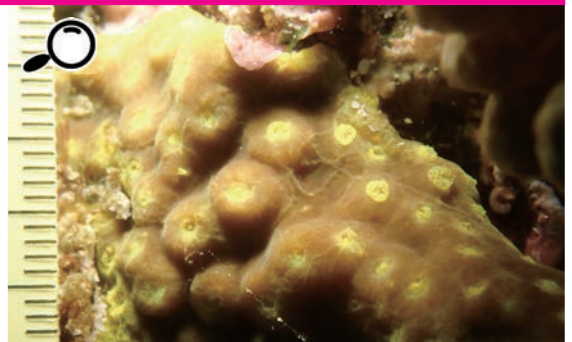
- 葉状～テーブル状～被覆状で、表面がうねることが多い
- 個体は黄色にもなるが、共肉部は褐色



スリバチサンゴ属 *Turbinaria* KICRS-L-00060, 阿伝, 10 m

ヨコミゾスリバチサンゴ

Turbinaria reniformis Bernard, 1896



KICRS-L-00060, 阿伝, 10 m

- 被覆状～葉状
- 個体と共肉部は共に黄色になることが多い

ハナサンゴ科 Euphylliaidae



ハナサンゴ属 *Euphyllia* KICRS-L-00064, 花良治, <10 m

カムリハナサンゴ
Euphyllia cristata Chevalier, 1971



KICRS-L-00064, 花良治, <10 m

● 触手は枝分かれのない棒状 ● 個体内部の仕切りが突出するのが目立つ



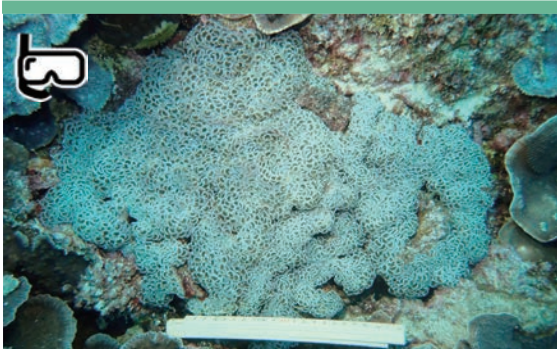
ハナサンゴ属 *Euphyllia* KICRS-L-00062, 花良治, 2 m

ハナサンゴ
Euphyllia glabrescens (Chamisso & Eysenhardt, 1821)



KICRS-L-00062, 花良治, 2 m

● 触手は枝分かれのない棒状 ● 骨格のみでの同定は難しい



ナガレハナサンゴ属 *Fimbriaphyllia* KICRS-L-00065, 花良治, 15 m

ナガレハナサンゴ
Fimbriaphyllia ancora (Veron & Pichon, 1980)



KICRS-L-00065, 花良治, 15 m

● 群体は個体が長く連なったかたち ● 触手は先端が割れて錨状~丁字型になる ● 別名ホソナガレハナサンゴ



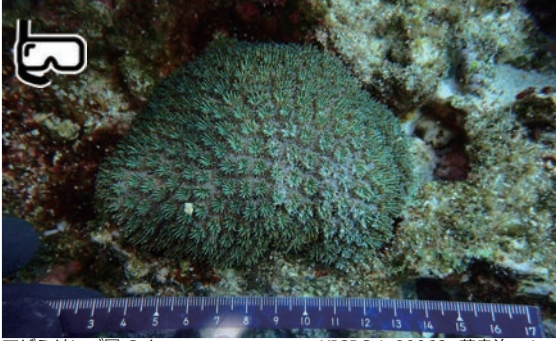
ナガレハナサンゴ属 *Fimbriaphyllia* KICRS-L-00067, 花良治, 19 m

ハナブサツツマルハナサンゴ
Fimbriaphyllia yaeyamaensis (Shirai, 1980)



KICRS-L-00067, 花良治, 19 m

● 成長しても個体どうしが連なっていないものが多い
● 触手は短く多数に枝分かれした房状



アザミサンゴ属 *Galaxea* KICRS-L-00068, 花良治, 4 m

アザミサンゴ

Galaxea fascicularis (Linnaeus, 1767)



KICRS-L-00068, 花良治, 4 m

- 被覆状～塊状
- 個体は突出し不均一な円形～楕円形
- 個体内の仕切りが突出し、全体的にトゲトゲした印象



ミドリイシ属とコモンサンゴ属の群集 (ハワイビーチ礁池, 2017.8.1)

クサビライシ科 Fungiidae



シタザラクサビライシ属 *Fungia* KICRS-L-00097, 花良治, <1 m

シタザラクサビライシ
Fungia fungites (Linnaeus, 1758)



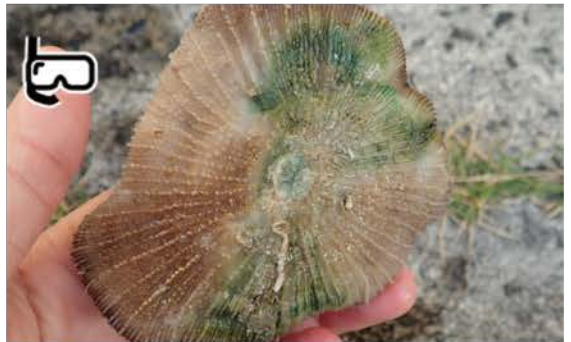
KICRS-L-00097, 花良治, <1 m

●いびつな形をしている ●口が1つ ●岩にくっついて
いるが、はがれやすい ●浅瀬に多い



シタザラクサビライシ属 *Fungia* KICRS-L-00098, 花良治, <1 m

シタザラクサビライシ
Fungia fungites (Linnaeus, 1758)



KICRS-L-00098, 花良治, <1 m

●個体の中心のみで固着しており、裏返すとその痕跡がみえ
る（写真中央） ●岩の隙間にいることが多い



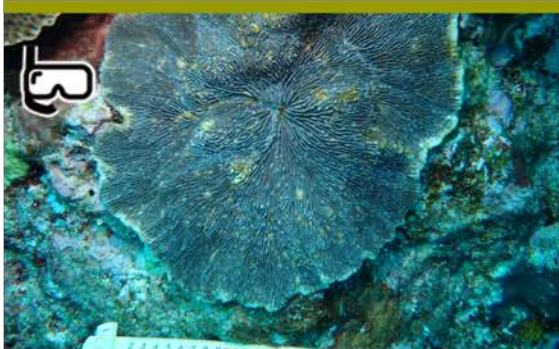
カワラサンゴ属 *Lithophyllon* KICRS-L-00100, 花良治, 13 m

カワラサンゴ属の1種
Lithophyllon scabra (Döderlein, 1901)



KICRS-L-00100, 花良治, 13 m

●綺麗な円形 ●口が1つ ●岩にくっつかない自由生活性
●仕切りがギザギザせず、滑らか



カワラサンゴ属 *Lithophyllon* KICRS-L-00101, 花良治, 12 m

カワラサンゴ
Lithophyllon undulatum Rehberg, 1892



KICRS-L-00101, 花良治, 12 m

●全体的に茶色くゆがんだ形 ●口が多数 ●岩にしっかりと
くっつく ●温帯にも多い



ソウライシ属 *Pleuractis* KICRS-L-00102, 志戸桶, 20 m

ナミクサビライシ

Pleuractis granulosa (Klunzinger, 1879)



KICRS-L-00102, 志戸桶, 20 m

- 綺麗な円形
- 口が一つ
- 岩にくっつかない自由生活性
- 仕切りが波うってるように見える



ヘルメットイシ属 *Sandalolitha* KICRS-L-00103, 花良治, 18 m

ヘルメットイシ

Sandalolitha robusta (Quelch, 1886)



KICRS-L-00103, 花良治, 18 m

- 横長になる
- 口が多数
- 岩にくっつかない自由生活性
- 左写真では若い2群体が隣り合っている

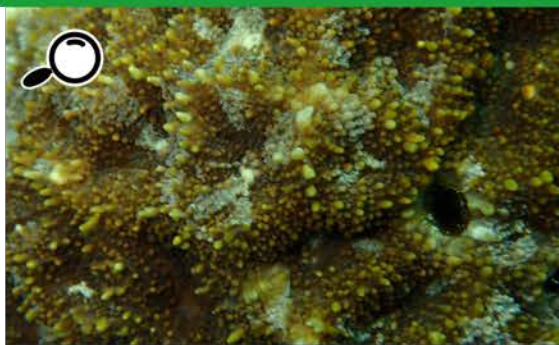


ヘルメットイシの巨大な群体 (阿伝, 2020.2.20)

オオトゲサンゴ科 Lobophylliidae



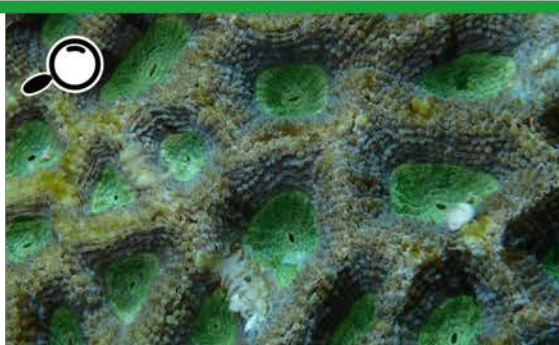
オオトゲキクメイシ属 *Acanthastrea* KICRS-L-00105, 花良治, <10 m
ヒメオオトゲキクメイシ
Acanthastrea echinata (Dana, 1846)



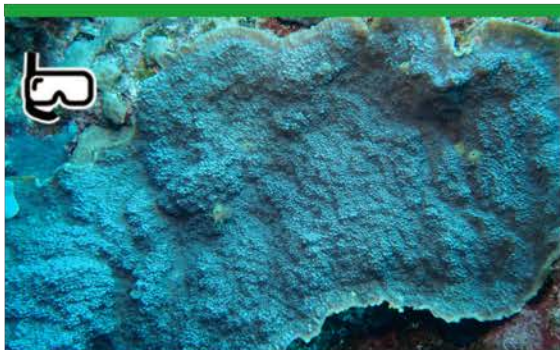
KICRS-L-00105, 花良治, <10 m
 ●塊状 ●個体は肉厚で、仕切りに鋭いトゲがみえる
 ●個体の大きさは10 mm程度



オオトゲキクメイシ属 *Acanthastrea* KICRS-L-00106, 花良治, 4 m
ヒラタオオトゲキクメイシ
Acanthastrea hemprichii (Ehrenberg, 1834)



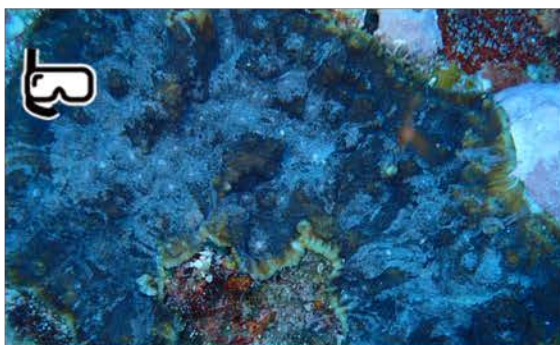
KICRS-L-00106, 花良治, 4 m
 ●塊状 ●個体は肉厚で、大きさは10 mm程度 ●ヒメオオトゲキクメイシに似るがトゲは控えめ



キッカサンゴ属 *Echinophyllia* KICRS-L-00107, 花良治, 13 m
キッカサンゴ
Echinophyllia aspera (Ellis & Solander, 1786)



KICRS-L-00107, 花良治, 13 m
 ●被覆状～葉状 ●個体は小さく (5 mm)、トゲが5-8本みえる ●肉厚

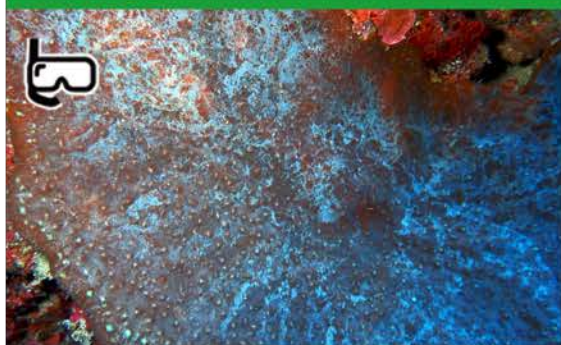


キッカサンゴ属 *Echinophyllia* KICRS-L-00108, 花良治, 16 m
キッカサンゴ
Echinophyllia aspera (Ellis & Solander, 1786)



KICRS-L-00108, 花良治, 16 m
 ●少し個体が大きい群体もある

オトゲサンゴ科 Lobophylliidae



キッカサンゴ属 *Echinophyllia* KICRS-L-00109, 阿伝, 14 m

リュウキュウキッカモドキ

Echinophyllia echinoporoides Veron & Pichon, 1980



KICRS-L-00109, 阿伝, 14 m

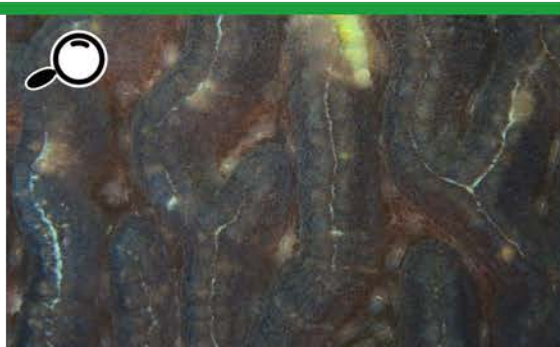
- 葉状 ● キッカサンゴより個体が小さい (3 mm)
- 個体がぼらぼらの方向をむいている ● 赤っぽい



ハナガタサンゴ属 *Lobophyllia* KICRS-L-00112, 阿伝, 9 m

ヒロクチダイノウサンゴ

Lobophyllia agaricia (Milne Edwards & Haime, 1849)



KICRS-L-00112, 阿伝, 9 m

- 塊状 ● 個体がつらなり迷路状 ● 畝が太い ● 口がはっきりとわかる ● ブヨブヨしている ● トゲが発達



ハナガタサンゴ属 *Lobophyllia* KICRS-L-00113, 花良治, 13 m

マルハナガタサンゴ

Lobophyllia corymbosa (Forskål, 1775)



KICRS-L-00113, 花良治, 13 m

- 半球状 ● 棒状の大きな個体が集合した群体 ● 肉厚
- トゲが発達



ハナガタサンゴ属 *Lobophyllia* KICRS-L-00114, 志戸桶, 13 m

マルハナガタサンゴ

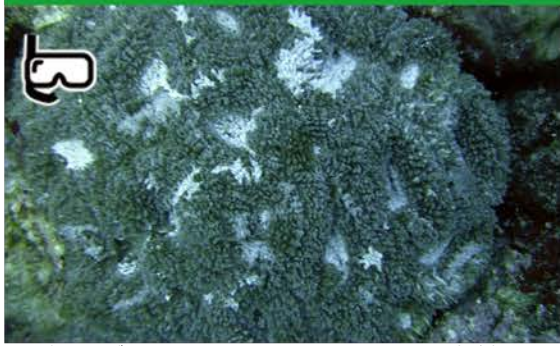
Lobophyllia corymbosa (Forskål, 1775)



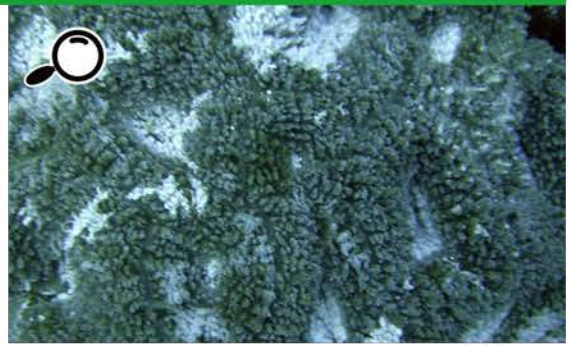
KICRS-L-00114, 志戸桶, 13 m

- 仕切りのトゲが良く発達した群体

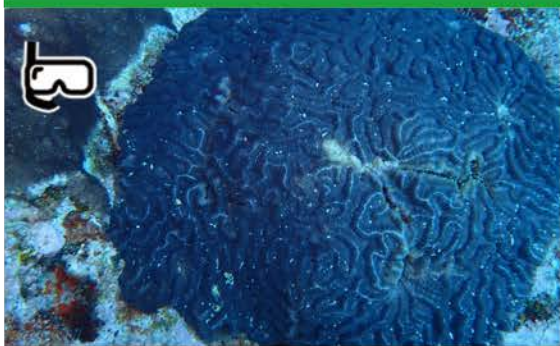
オトゲサンゴ科 Lobophylliidae



ハナガタサンゴ属 *Lobophyllia* KICRS-L-00226, 手久津久, 17 m
イシガキオトゲキクメイシ
Lobophyllia ishigakiensis (Veron, 1990)



KICRS-L-00226, 手久津久, 17 m
 ●塊状 ●ヒラタオトゲキクメイシに似るが、個体の大きさは約2倍 (20 mm) ●肉厚 ●トゲが発達



ハナガタサンゴ属 *Lobophyllia* KICRS-L-00117, 花良治, 11 m
ホソダイノウサンゴ
Lobophyllia recta (Dana, 1846)



KICRS-L-00117, 花良治, 11 m
 ●塊状 ●個体がつながり迷路状 ●畝はさほど太くない ●口は分かりにくい



ハナガタサンゴ属 *Lobophyllia* KICRS-L-00118, 花良治, <10 m
ホソダイノウサンゴ
Lobophyllia recta (Dana, 1846)



KICRS-L-00118, 花良治, <10 m
 ●茶色の群体もある ●畝がイモムシのようにみえる



ハナガタサンゴ属 *Lobophyllia* KICRS-L-00115, 花良治, <10 m
ハナガタサンゴ
Lobophyllia robusta Yabe & Sugiyama, 1936



KICRS-L-00115, 花良治, <10 m
 ●独立した大きな個体が集合した群体 ●マルハナガタサンゴに似るが、個体は約2倍 (10 cm) 大きい ●肉厚

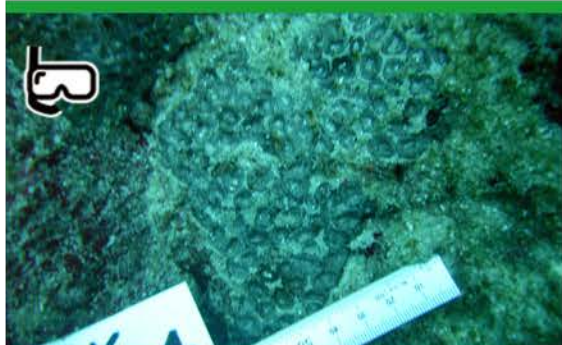
オオトゲサンゴ科 Lobophylliidae



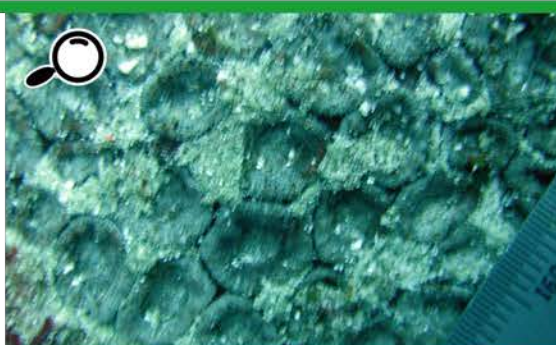
ハナガタサンゴ属 *Lobophyllia* KICRS-L-00119, 志戸桶, 21 m
ヒラサンゴ
Lobophyllia rowleyensis (Veron, 1985)



KICRS-L-00119, 志戸桶, 21 m
 ●被覆状 ●個体も大きく広がる ●肉厚だが、トゲはあまり発達しない ●水深20 m付近に多い



コオトゲキクメイシ属 *Micromussa* KICRS-L-00220, 花良治, 15 m
コオトゲキクメイシ属の1種
Micromussa multipunctata (Hodgson, 1985)



KICRS-L-00220, 花良治, 15 m
 ●被覆状 ●個体は8 mm程度で、絨毯のような質感
 ●個体間に溝ができる



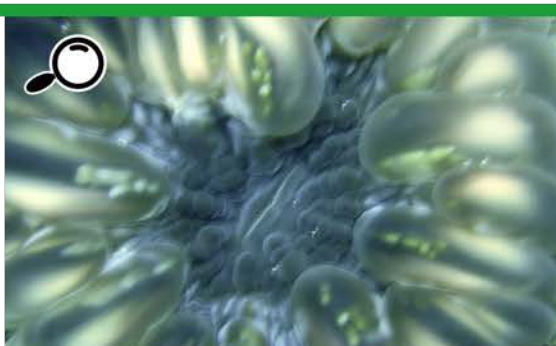
アナキッカサンゴ属 *Oxypora* KICRS-L-00120, 花良治, 14 m
アナキッカサンゴ
Oxypora lacera (Verrill, 1864)



KICRS-L-00120, 花良治, 14 m
 ●葉状～板状 ●キッカサンゴと見た目がそっくり ●骨にある穴で区別できるが、生きている時は見分けられない



コハナガタサンゴ属 *Cynarina* KICRS-L-00235, 佐手久, 27 m
コハナガタサンゴ
Cynarina lacrymalis (Milne Edwards & Haime, 1848)



KICRS-L-00235, 佐手久, 27 m
 ●基本的に単体性 ●組織が全体的にプヨプヨ ●仕切りの骨が透けてみえる ●深いところに多い



マルキクメイシ属 *Astrea* KICRS-L-00122, 花良治, 4 m
マルキクメイシ
Astrea curta Dana, 1846



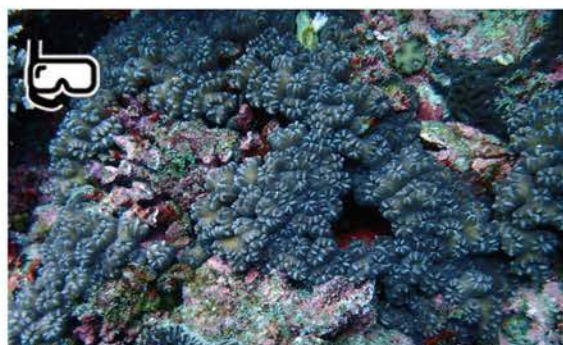
KICRS-L-00122, 花良治, 4 m
 ●塊状 ●個体は正円で壁が厚く、互いに独立 ●個体の大きさは5 mm程度



タバネサンゴ属 *Caulastraea* KICRS-L-00123, 阿伝, 10 m
ネジレタバネサンゴ
Caulastraea furcata Dana, 1846



KICRS-L-00123, 阿伝, 10 m
 ●先端に1-2個の個体がついた短い棒の集合体 ●バラバラと割れやすい ●個体の壁が厚く大きさは10 mm程度



タバネサンゴ属 *Caulastraea* KICRS-L-00124, 志戸桶, <10 m
ネジレタバネサンゴ
Caulastraea furcata Dana, 1846



KICRS-L-00124, 志戸桶, <10 m
 ●個体内部の仕切りが突出し白く見える群体もある



パリカメノコキクメイシ属 *Coelastrea* KICRS-L-00125, 花良治, 7 m
パリカメノコキクメイシ
Coelastrea aspera (Verrill, 1866)



KICRS-L-00125, 花良治, 7 m
 ●塊状 ●個体は角ばっており互いに壁を共有 ●仕切りが縞状に見える ●浅瀬に多い



パリカメノコキクメイシ属 *Coelastrea* KICRS-L-000130, 花良治, <10 m
パリカメノコキクメイシ
Coelastrea aspera (Verrill, 1866)



KICRS-L-000130, 花良治, <10 m
 ● 全体的に緑色に見える群体もある



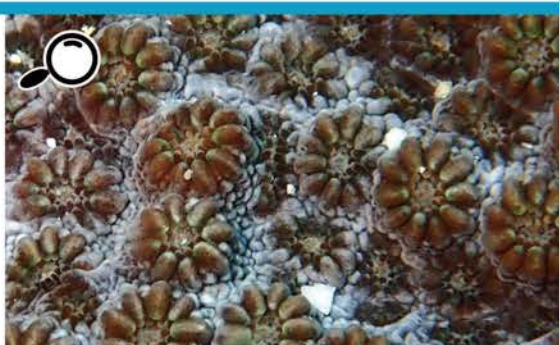
トゲキクメイシ属 *Cyphastrea* KICRS-L-00133, 花良治, 16 m
コトゲキクメイシ
Cyphastrea chalcidicum (Forskål, 1775)



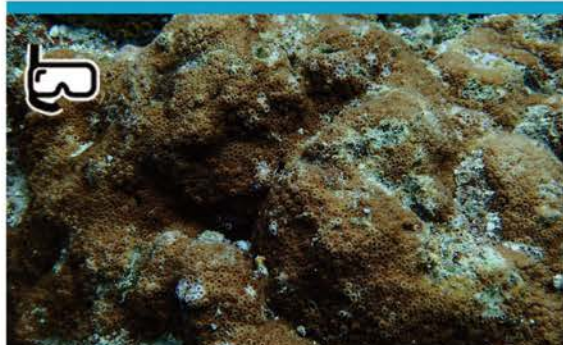
KICRS-L-00133, 花良治, 16 m
 ● 被覆状～塊状 ● 個体は互いに独立し、すこし突出する
 ● 個体の大きさは1-2 mm ● 仕切りが12枚みえる



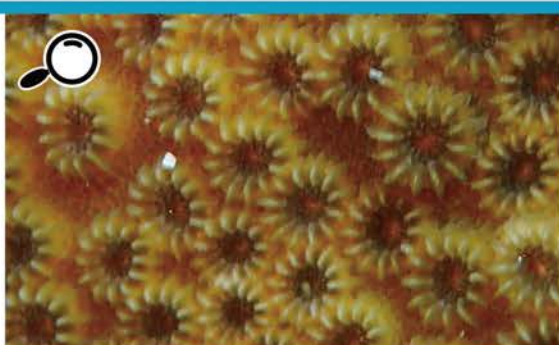
トゲキクメイシ属 *Cyphastrea* KICRS-L-00134, 花良治, <10 m
トゲキクメイシ
Cyphastrea microphthalmia (Lamarck, 1816)



KICRS-L-00134, 花良治, <10 m
 ● 被覆状～塊状 ● 個体は互いに独立 ● 個体の大きさは1-2 mm ● 仕切りが10枚みえる



トゲキクメイシ属 *Cyphastrea* KICRS-L-00136, 花良治, <10 m
フカトゲキクメイシ
Cyphastrea serailia (Forskål, 1775)



KICRS-L-00136, 花良治, <10 m
 ● 塊状 ● 個体は正円で互いに独立し、少し突出する ● 個体の大きさは1-2 mm ● 12枚の仕切りが明瞭にみえる

サザナミサンゴ科 Merulinidae



キクメイシ属 *Dipsastraea* KICRS-L-00215, 花良治, 16 m
ナミキクメイシ
Dipsastraea favus (Forskål, 1775)



KICRS-L-00215, 花良治, 16 m
 ●塊状 ●個体の形は不揃いで壁が厚く互いに独立、大きさは10-15 mm



キクメイシ属 *Dipsastraea* KICRS-L-00223, 手久津久, 22 m
アラキクメイシ
Dipsastraea matthaii (Vaughan, 1918)



KICRS-L-00223, 手久津久, 22 m
 ●塊状 ●個体は円形で互いに独立、大きさは10 mm程度
 ●個体の壁がギザギザで中心が黄色



キクメイシ属 *Dipsastraea* KICRS-L-00138, 花良治, <10 m
アラキクメイシ
Dipsastraea matthaii (Vaughan, 1918)



KICRS-L-00138, 花良治, <10 m
 ●茶色と白のまだら模様の群体もある



キクメイシ属 *Dipsastraea* KICRS-L-00218, 花良治, 15 m
ウルトラキクメイシ
Dipsastraea maxima (Veron, Pichon & Wijsman-Best, 1977)



KICRS-L-00218, 花良治, 15 m
 ●塊状 ●個体の形はいびつで肉厚、互いに独立 ●個体が20 mmと大きいのが特徴



キクメイシ属 *Dipsastraea* KICRS-L-00214, 花良治, 17 m

ロツマキクメイシ

Dipsastraea rotumana (Gardiner, 1899)



KICRS-L-00214, 花良治, 17m

- 塊状 ●個体は互いに独立しているが密集 ●個体の大きさは15 mm程度 ●仕切りが突出し輪状に並んでいる



キクメイシ属 *Dipsastraea* KICRS-L-00139, 阿伝, 14 m

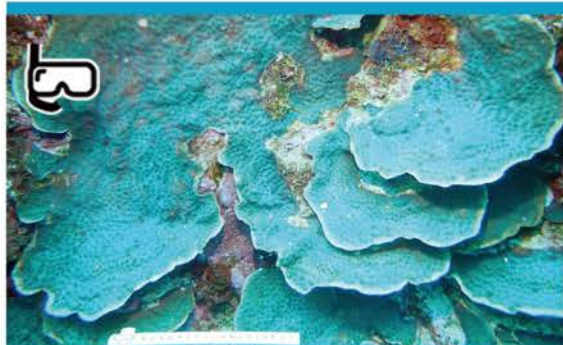
キクメイシ

Dipsastraea speciosa (Dana, 1846)



KICRS-L-00139, 阿伝, 14 m

- 塊状 ●個体は円形~楕円形で互いに独立し、大きさは10 mm程度 ●仕切りの数が多い ●個体が少し突出



リュウキュウキッカサンゴ属 *Echinopora* KICRS-L-00142, 花良治, 13 m

オオリュウキュウキッカサンゴ

Echinopora gemmacea (Lamarck, 1816)



KICRS-L-00142, 花良治, 13 m

- 板状 ●個体は円形で互いに独立し、大きさは5 mm程度 ●個体の間に小突起があり表面がザラザラした印象



リュウキュウキッカサンゴ属 *Echinopora* KICRS-L-00143, 花良治, 16 m

タイヨウリュウキュウキッカサンゴ

Echinopora pacifica Veron, 1990



KICRS-L-00143, 花良治, 16 m

- 被覆状~板状 ●個体は円形で独立、大きさは8 mm程度 ●個体間の突起が均等で、比較的表面がなめらかな印象

サザナミサンゴ科 Merulinidae



カメノコキクメイシ属 *Favites* KICRS-L-00145, 花良治, <10 m
カメノコキクメイシ
Favites abdita (Ellis & Solander, 1786)



KICRS-L-00145, 花良治, <10 m
●塊状 ●個体の形は五角形で、互いに壁を共有し、大きさは20 mm程度 ●個体の壁が厚い ●口は緑色



カメノコキクメイシ属 *Favites* KICRS-L-00146, 阿伝, 15 m
カメノコキクメイシ属の1種
Favites complanata (Ehrenberg, 1834)



KICRS-L-00146, 阿伝, 15 m
●塊状 ●個体は丸みを帯びた多角形で、互いに壁を共有し、大きさは10 mm程度 ●個体の大きさは均一



カメノコキクメイシ属 *Favites* KICRS-L-00148, 花良治, <10 m
マルカメノコキクメイシ
Favites halicora (Ehrenberg, 1834)



KICRS-L-00148, 花良治, <10 m
●塊状 ●個体は円形で、互いに壁を共有し、大きさは20 mm程度 ●個体の壁は厚い



カメノコキクメイシ属 *Favites* KICRS-L-00147, 花良治, <10 m
マルカメノコキクメイシ
Favites halicora (Ehrenberg, 1834)



KICRS-L-00147, 花良治, <10 m
●たまに個体自体もしくは個体の壁が盛り上がる



カメノコキクメイシ属 *Favites* KICRS-L-00110, 花良治, 8 m
オオマルキクメイシ
Favites magnistellata (Milne-Edwards & Haime, 1849)



KICRS-L-00110, 花良治, 8 m
 ●塊状 ●個体は綺麗な円形でおおむね互いに独立、大きさは10 mm程度 ●個体に同心円状のしわがみえる



カメノコキクメイシ属 *Favites* KICRS-L-00150, 志戸桶, <10 m
アツキクメイシ
Favites rotundata Veron, Pichon & Wijsman-Best, 1977



KICRS-L-00150, 志戸桶, <10 m
 ●塊状 ●個体は円形~楕円形で互いに独立、大きさは20 mm程度 ●個体は肉厚でたまに突出



カメノコキクメイシ属 *Favites* KICRS-L-00151, 花良治, <10 m
ミゾカメノコキクメイシ
Favites styliifera Yabe & Sugiyama, 1937



KICRS-L-00151, 花良治, <10 m
 ●塊状 ●個体は不規則な形で壁を共有し、大きさは10mm程度 ●壁がギザギザしている



カメノコキクメイシ属 *Favites* KICRS-L-00152, 花良治, <10 m
ミゾカメノコキクメイシ
Favites styliifera Yabe & Sugiyama, 1937

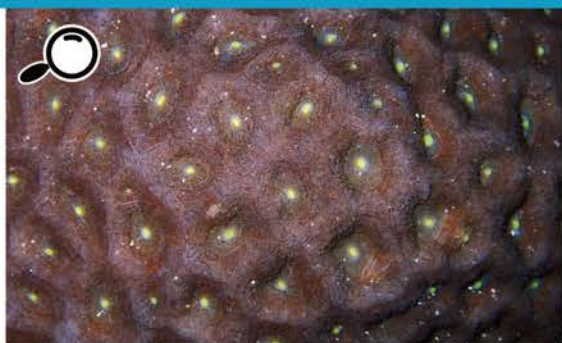


KICRS-L-00152, 花良治, <10 m
 ●個体と個体の間にたまに溝ができる

サザナミサンゴ科 Merulinidae



カメノコキクメイシ属 *Favites* KICRS-L-00153, 阿伝, 15 m
タカクキクメイシ
Favites valenciennesii (Milne Edwards & Haime, 1849)



KICRS-L-00153, 阿伝, 15 m
 ●塊状 ●個体は多角形で互いに接しているが独立、大きさは10 mm程度



コカメノコキクメイシ属 *Goniastrea* KICRS-L-00158, 花良治, <10 m
ヒメウネカメノコキクメイシ
Goniastrea favulus (Dana, 1846)



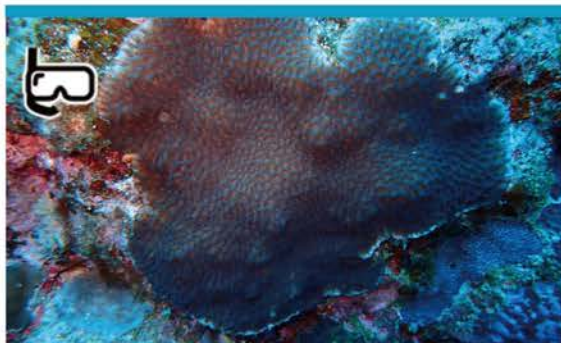
KICRS-L-00158, 花良治, <10 m
 ●塊状 ●個体は多角形で互いに壁を共有し、大きさは10 mm未満 ●個体の壁が垂直で高い



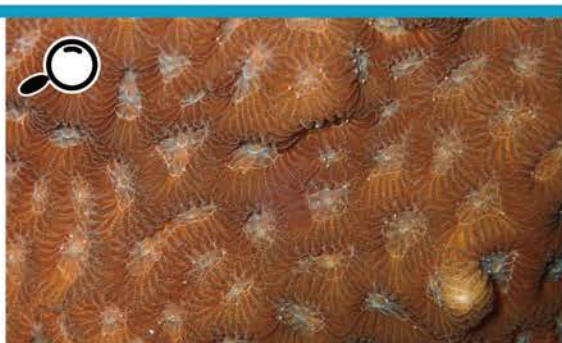
コカメノコキクメイシ属 *Goniastrea* KICRS-L-00160, 花良治, <10 m
ヒメコモンキクメイシ
Goniastrea minuta Veron, 2000



KICRS-L-00160, 花良治, <10 m
 ●塊状 ●個体は多角形で互いに壁を共有し、大きさは10 mm未満 ●個体の大きさが均一



コカメノコキクメイシ属 *Goniastrea* KICRS-L-00161, 阿伝, 18 m
コカメノコキクメイシ
Goniastrea pectinata (Ehrenberg, 1834)



KICRS-L-00161, 阿伝, 18 m
 ●塊状 ●個体は多角形で互いに壁を共有し、大きさは10 mm程度 ●個体が2-3個つらなることがある



コカメノコキクメイシ属 *Goniastrea* KICRS-L-00162, 花良治, <10 m
ホシキクメイシ
Goniastrea stelligera (Dana, 1846)



KICRS-L-00162, 花良治, <10 m
 ●塊状 ●個体は円形で互いに独立し大きさは4 mm程度
 ●個体の大きさが均一 ●トゲキクメイシ属に似る



イボサンゴ属 *Hydnophora* KICRS-L-00163, 志戸桶, 21 m
トゲイボサンゴ
Hydnophora exesa (Pallas, 1766)



KICRS-L-00163, 志戸桶, 21 m
 ●被覆状 ●群体表面が円錐形のイボに覆われる ●イボは尖りがちで大きさは5 mm程度



イボサンゴ属 *Hydnophora* KICRS-L-00165, 花良治, 6 m
リュウキュウイボサンゴ
Hydnophora microconos (Lamarck, 1816)



KICRS-L-00165, 花良治, 6 m
 ●被覆状~塊状 ●群体表面が円錐形のイボに覆われる
 ●イボの先端は平たくなりがち、大きさは3 mm程度



イボサンゴ属 *Hydnophora* KICRS-L-00166, 阿伝, 9 m
エダイボサンゴ
Hydnophora rigida (Dana, 1846)



KICRS-L-00166, 阿伝, 9 m
 ●樹枝状 ●横に長く上方向に短いイボが発達 ●触手を出していることが多く、表面がフサフサした印象

サザナミサンゴ科 Merulinidae



ナガレサンゴ属 *Leptoria* KICRS-L-00168, 志戸桶, <10 m
ナガレサンゴ
Leptoria phrygia (Ellis & Solander, 1786)



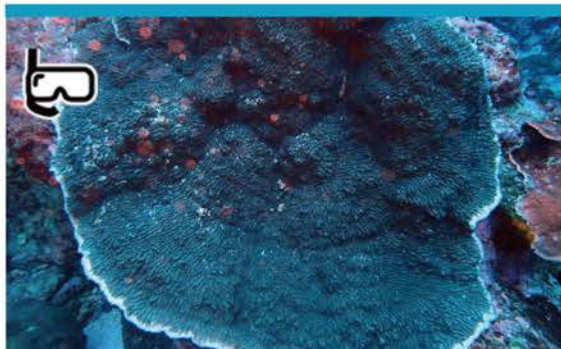
KICRS-L-00168, 志戸桶, <10 m
 ●塊状 ●個体がつらなって谷と畝をつくり迷路に見える
 ●谷の幅は5 mm程度 ●畝は低く高さにばらつきがない



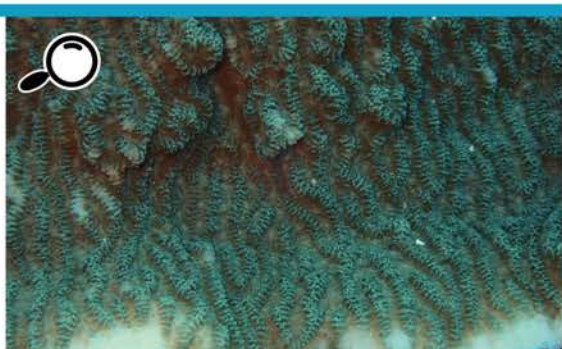
ナガレサンゴ属 *Leptoria* KICRS-L-00169, 志戸桶, 13 m
ナガレサンゴ
Leptoria phrygia (Ellis & Solander, 1786)



KICRS-L-00169, 志戸桶, 13 m
 ●白っぽい群体も多い ●迷路がきれいにみえる



サザナミサンゴ属 *Merulina* KICRS-L-00172, 花良治, 16 m
サザナミサンゴ
Merulina ampliata (Ellis & Solander, 1786)



KICRS-L-00172, 花良治, 16 m
 ●テーブル状だが稀に枝が伸びる ●畝がさざ波のようにみえる ●谷は狭い



サザナミサンゴ属 *Merulina* KICRS-L-00171, 花良治, 13 m
サザナミサンゴ
Merulina ampliata (Ellis & Solander, 1786)



KICRS-L-00171, 花良治, 13 m
 ●枝が伸びた群体 ●通常はこのように枝は伸びない



ウスカミサンゴ属 *Mycedium* KICRS-L-00174, 志戸桶, 21 m

ウスカミサンゴ

Mycedium elephantotus (Pallas, 1766)



KICRS-L-00174, 志戸桶, 21 m

- 被覆状 ● 個体は互いに独立し、大きさは10 mm程度
- 個体は上向きではなく群体の外側へ横向く



ウスカミサンゴ属 *Mycedium* KICRS-L-00173, 志戸桶, 26 m

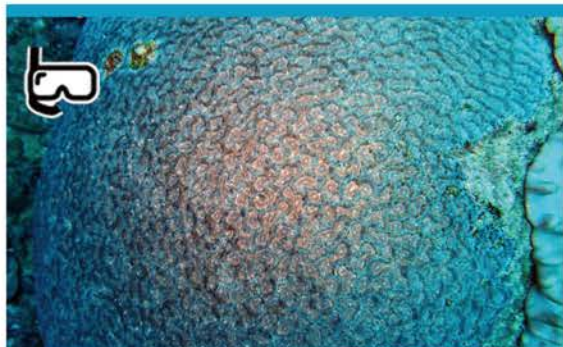
ヒメウスカミサンゴ

Mycedium robokaki Moll & Borel Best, 1984



KICRS-L-00173, 志戸桶, 26 m

- 被覆状 ● 個体はウスカミサンゴよりやや小さい ● 個体は群体の外側へ横向く
- 個体の中心が赤もしくはオレンジ



オオナガレサンゴ属 *Oulophyllia* KICRS-L-00175, 阿伝, 15 m

カクオオナガレサンゴ

Oulophyllia bennettiae (Veron, Pichon & Wijsman-Best, 1977)



KICRS-L-00175, 阿伝, 15 m

- 塊状 ● 個体が2-10個つらなる ● 壁は分厚い ● 谷の幅は10 mm程度 ● 口が明瞭



オオナガレサンゴ属 *Oulophyllia* KICRS-L-00176, 志戸桶, 20 m

オオナガレサンゴ

Oulophyllia crispa (Lamarck, 1816)



KICRS-L-00176, 志戸桶, 20 m

- 塊状 ● 個体がつらなり迷路状になる ● 谷の幅は10 mm程度 ● カクオオナガレサンゴと比べて谷が深い

サザナミサンゴ科 Merulinidae



スジウミバラ属 *Pectinia* KICRS-L-00177, 花良治, 16 m
スジウミバラ
Pectinia lactuca (Pallas, 1766)



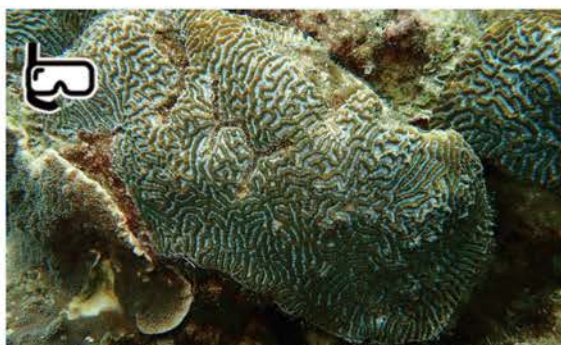
KICRS-L-00177, 花良治, 16 m
●レタスのような形 ●壁は肉厚だがもろく、群体の中央部で高くなる ●個体は谷の底にあり不明瞭



ノウサンゴ属 *Platygyra* KICRS-L-00179, 花良治, 12 m
ヒラノウサンゴ
Platygyra daedalea (Ellis & Solander, 1786)



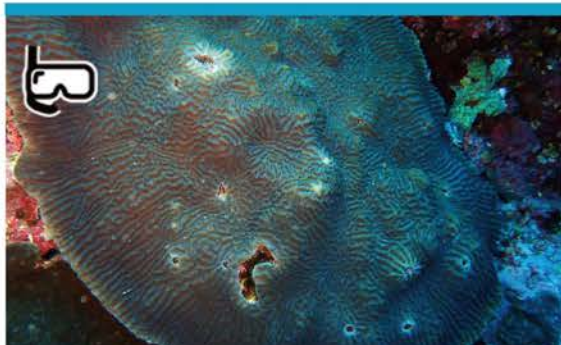
KICRS-L-00179, 花良治, 12m
●塊状 ●個体がつらなり迷路に見える ●谷の幅は5 mm程度 ●畝は低いが厚くギザギザしている



ノウサンゴ属 *Platygyra* KICRS-L-00180, 花良治, <10 m
ヒラノウサンゴ
Platygyra daedalea (Ellis & Solander, 1786)



KICRS-L-00180, 花良治, <10 m
●迷路の形はさまざま



ノウサンゴ属 *Platygyra* KICRS-L-00181, 阿伝, 13 m
ノウサンゴ
Platygyra lamellina (Ehrenberg, 1834)



KICRS-L-00181, 阿伝, 13 m
●塊状 ●個体がつらなり迷路に見える ●谷の幅は5 mm程度 ●畝は高くならないが幅が広く、表面が均一的



ノウサンゴ属 *Platygyra* KICRS-L-00183, 志戸桶, <10 m

シナノウサンゴ

Platygyra sinensis (Milne Edwards & Haime, 1849)



KICRS-L-00183, 志戸桶, <10 m

- 塊状 ●個体が複数つらなり長いものは迷路にみえる
- 谷の幅は5 mm程度 ●畝は幅が狭くギザギザ



ノウサンゴ属 *Platygyra* KICRS-L-00184, 阿伝, 15 m

シナノウサンゴ

Platygyra sinensis (Milne Edwards & Haime, 1849)



KICRS-L-00184, 阿伝, 15 m

- 多くの個体がつらなり完全に迷路状になるものもある



ノウサンゴ属 *Platygyra* KICRS-L-00185, 花良治, <10 m

ノウサンゴ属の1種

Platygyra verweyi Wijsman-Best, 1976



KICRS-L-00185, 花良治, <10 m

- 塊状 ●2-3個の個体がつらなることが多い ●谷の幅は5 mm程度 ●仕切りがわかりやすく明瞭



ノウサンゴ属 *Platygyra* KICRS-L-00186, 花良治, <10 m

ノウサンゴ属の1種

Platygyra verweyi Wijsman-Best, 1976



KICRS-L-00186, 花良治, <10 m

- 壁が高くなることもある

ハナヤサイサンゴ科 Pocilloporidae



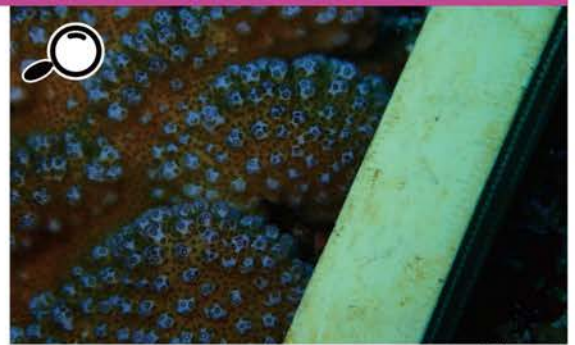
ハナヤサイサンゴ属 *Pocillopora* KICRS-L-00190, 花良治, 15 m
ハナヤサイサンゴ
Pocillopora damicornis (Linnaeus, 1758)



KICRS-L-00190, 花良治, 15 m
 ● 枝は短く比較的細い ● イボ状突起が複数個まとまって伸びる



ハナヤサイサンゴ属 *Pocillopora* KICRS-L-00187, 阿伝, 16 m
ハナヤサイサンゴ属の1種
Pocillopora elegans Dana, 1846



KICRS-L-00187, 阿伝, 16 m
 ● 枝は太い ● 個体は比較的大きい(約1 mm) ● イボ状突起が多面体にみえる ● 深場では枝が水平に伸びる



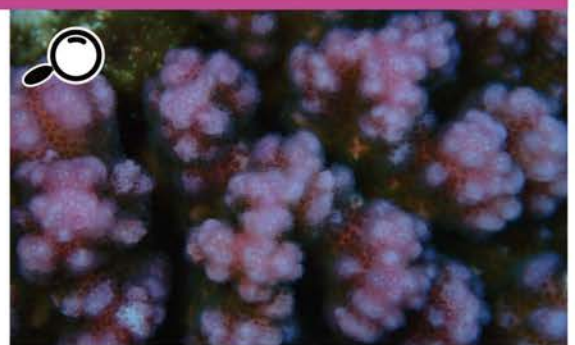
ハナヤサイサンゴ属 *Pocillopora* KICRS-L-00188, 志戸桶, 11 m
ヘラジカハナヤサイサンゴ
Pocillopora eydouxi Milne Edwards, 1860



KICRS-L-00188, 志戸桶, 11 m
 ● 枝は円柱状~扇子状 ● 群体はがっしりした印象 ● 個体は小さい(約0.7 mm) ● イボ状突起が丸くみえる



ハナヤサイサンゴ属 *Pocillopora* KICRS-L-00191, 花良治, 5 m
イボハダハナヤサイサンゴ
Pocillopora verrucosa (Ellis & Solander, 1786)



KICRS-L-00191, 花良治, 5 m
 ● 枝の大きさはハナヤサイサンゴとヘラジカハナヤサイサンゴの間 ● 大きさの違うイボ状突起が不規則に並ぶ

ハナヤサイサンゴ科 Pocilloporidae



トゲサンゴ属 *Seriatopora* KICRS-L-00192, 花良治, 14 m
トゲサンゴ
Seriatopora hystrix Dana, 1846



KICRS-L-00192, 花良治, 14 m
● 樹枝状で枝は先細り ● 個体が列をなして並ぶ



ショウガサンゴ属 *Stylophora* KICRS-L-00196, 花良治, 13 m
ショウガサンゴ
Stylophora pistillata Esper, 1798



KICRS-L-00196, 花良治, 13 m
● 樹枝状で枝は太い ● 個体の縁に、ひさしができることがある ● ハナヤサイサンゴ属と枝ぶりが似るがイボはない



ハナヤサイサンゴ属とミドリイシ属の群集 (志戸桶, 2020.2.20)

ハマサンゴ科 Poritidae



ハナガササンゴ属 *Goniopora* KICRS-L-00070, 阿伝, 17 m

キクメハナガササンゴ

Goniopora djiboutiensis Vaughan, 1907



KICRS-L-00070, 阿伝, 17 m

- 柱状～塊状～被覆状
- 日中、個体が長く伸びる
- 大きな口が特徴的
- 色彩はさまざま



ハナガササンゴ属 *Goniopora* KICRS-L-00240, 花良治, 15 m

ユレハナガササンゴ

Goniopora pendulus Veron, 1985



KICRS-L-00240, 花良治, 15 m

- 塊状
- 日中、個体が長く伸びる
- ハナガササンゴ属の中でも特に触手が長く伸びる
- 口の周りの色は暗い



ハナガササンゴ属 *Goniopora* KICRS-L-00210, ハワイビーチ, <2 m

マルアナハナガササンゴ

Goniopora tenuidens (Queich, 1886)



KICRS-L-00210, ハワイビーチ, <2 m

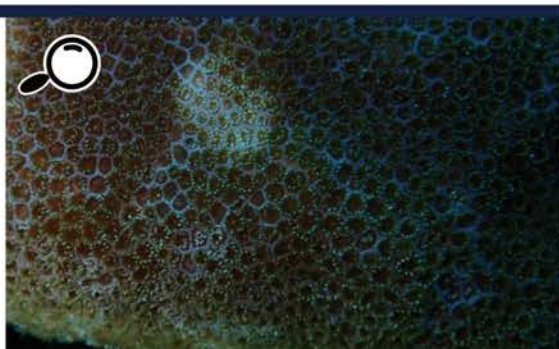
- 塊状
- ハナガササンゴ属の中では珍しく浅い場所を好む
- 個体は伸びないことが多い



ハマサンゴ属 *Porites* KICRS-L-00090, 阿伝, 14 m

ハマサンゴ

Porites australiensis Vaughan, 1918



KICRS-L-00090, 阿伝, 14 m

- 塊状で巨大になることもある
- 骨格を顕微鏡で観察しないと種は見分けにくい

ハマサンゴ科 Poritidae



ハマサンゴ属 *Porites* KICRS-L-00092, 花良治, 6 m

ユビエダハマサンゴ

Porites cylindrica Dana, 1846



KICRS-L-00092, 花良治, 6 m

●樹枝状だが全体的に半球状になる ●個体は小さい ●表面はなめらか ●色は灰色、褐色など



ハマサンゴ属 *Porites* KICRS-L-00077, 花良治, 5 m

ベニハマサンゴ

Porites lichen Dana, 1846



KICRS-L-00077, 花良治, 5 m

●コブのある被覆状 ●蛍光黄色の群体が多いが、たまに茶色や赤茶色の個体を持つ



ハマサンゴ属 *Porites* KICRS-L-00088, 阿伝, 16 m

フカアナハマサンゴ

Porites lobata Dana, 1846



KICRS-L-00088, 阿伝, 16 m

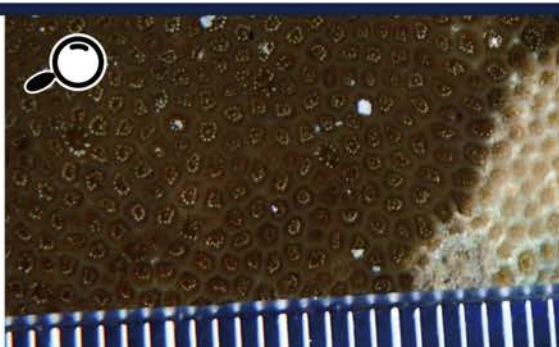
●塊状で巨大になることもある ●骨格を顕微鏡で観察しないと種は見分けにくい



ハマサンゴ属 *Porites* KICRS-L-00080, 花良治, 12 m

コブハマサンゴ

Porites lutea Milne Edwards & Haime, 1851



KICRS-L-00080, 花良治, 12 m

●塊状で巨大になることもある ●骨格を顕微鏡で観察しないと種は見分けにくい

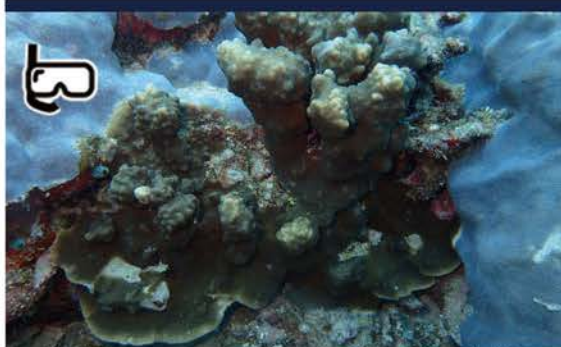
ハマサンゴ科 Poritidae



ハマサンゴ属 *Porites* KICRS-L-00085, 花良治, <1 m
ネグロスハマサンゴ
Porites negrosensis Veron, 1990



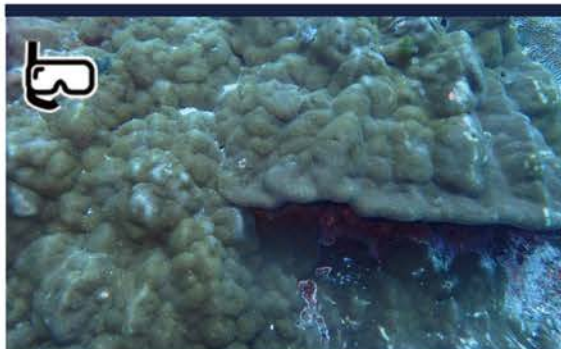
KICRS-L-00085, 花良治, <1 m
 ●樹枝状 ●枝の先端は平らで、根元は複数の枝が癒合
 ●個体同士の距離が離れている



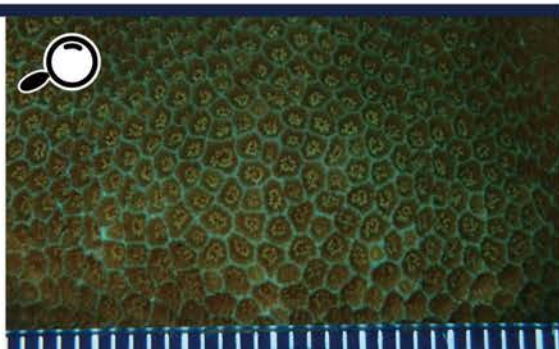
ハマサンゴ属 *Porites* KICRS-L-00076, 花良治, 6 m
パラオハマサンゴ
Porites rus (Forskål, 1775)



KICRS-L-00076, 花良治, 6 m
 ●葉状の基部から円柱状に立ち上がる ●表面はハマサンゴ属の中でも特に滑らか



ハマサンゴ属 *Porites* KICRS-L-00082, 花良治, 12 m
オオハマサンゴ
Porites solida (Forskål, 1775)



KICRS-L-00082, 花良治, 12 m
 ●塊状で巨大になることもある ●個体は多角形でハマサンゴ属の中では比較的大きい

アミメサンゴ科 Psammocoridae



アミメサンゴ属 *Psammocora* KICRS-L-00198, 花良治, <10 m

アミメサンゴ

Psammocora profundacella Gardiner, 1898



KICRS-L-00198, 花良治, <10 m

- 表面が細かい粒々
- 仕切りが花卉のような模様
- 個体間の畝は角ばって明瞭

科所属不明 Family *incertae sedis*



ルリサンゴ属 *Leptastrea* KICRS-L-00167, 花良治, 16 m

アラルリサンゴ

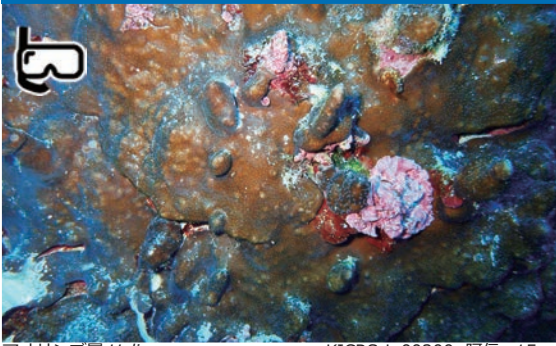
Leptastrea transversa Klunzinger, 1879



KICRS-L-00167, 花良治, 16 m

- 被覆状
- 個体は不規則に角ばる
- 個体と個体の間は白く厚い
- 瑠璃色のフジツボのなかまが骨にすみつく

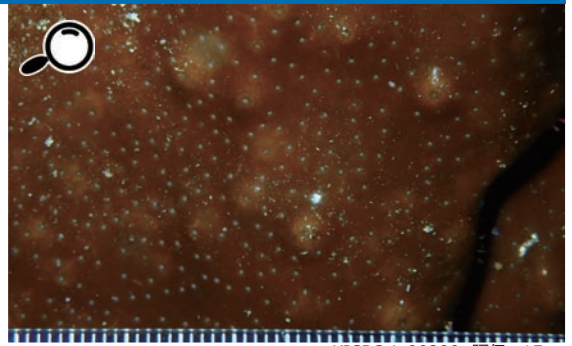
アオサンゴ科 Helioporidae (花虫綱八放サンゴ亜綱)



アオサンゴ属 *Heliopora* KICRS-L-00200, 阿伝, 15 m

アオサンゴ

Heliopora coerulea (Pallas, 1766)



KICRS-L-00200, 阿伝, 15 m

- 被覆状～柱状～垂直な板状
- 表面はツルツルの印象
- 触手は羽毛状で8本



アオサンゴ属 *Heliopora* KICRS-L-00199, 阿伝, 10 m

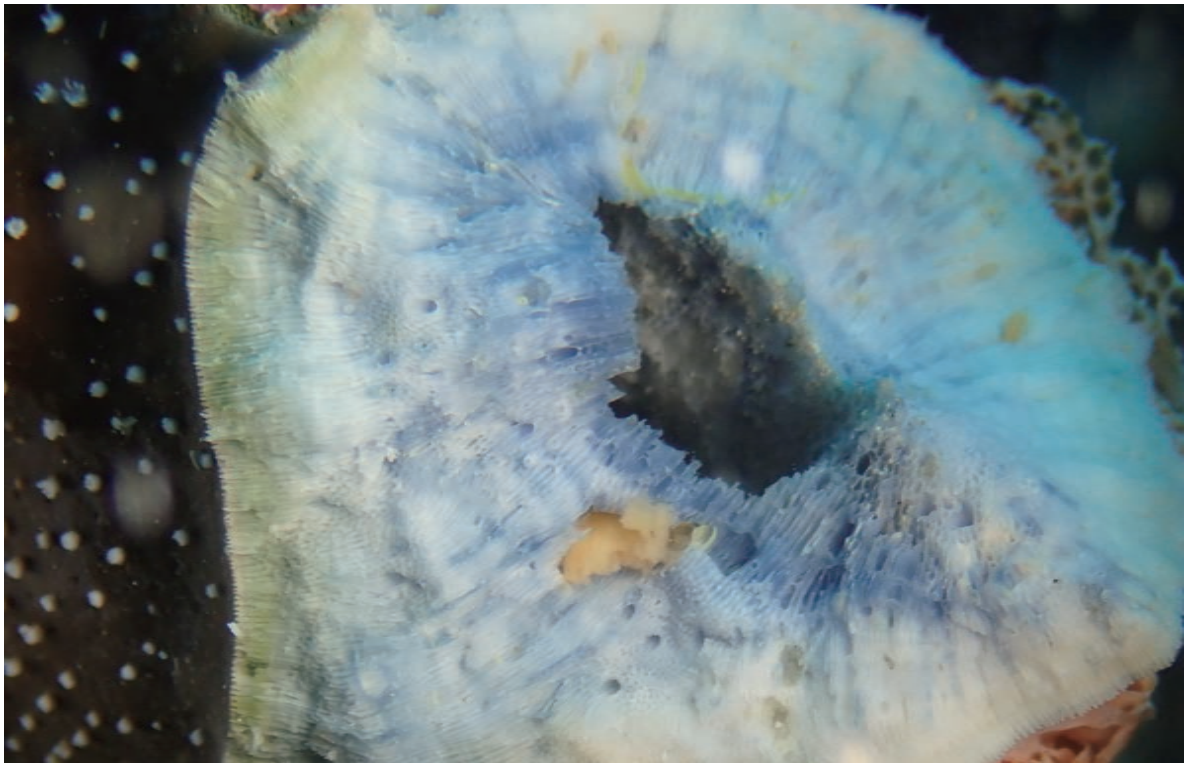
アオサンゴ

Heliopora coerulea (Pallas, 1766)



KKICRS-L-00199, 阿伝, 10 m

- 暗がりや未成長の群体、群体の基部は被覆状になる
- ソフトコーラルに近いなかま

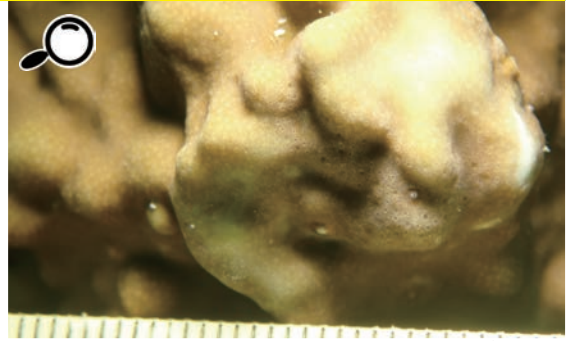


アオサンゴの骨格は名前の由来どおり、生時も死後も青い (KICRS-L-00199, 阿伝, 2020.2.20)

アナサンゴモドキ科 Milleporidae (ヒドロ虫綱)



アナサンゴモドキ属 *Millepora* KICRS-L-00203, 阿伝, 10 m
カンボクアナサンゴモドキ
Millepora exaesa Forskål, 1775



KICRS-L-00203, 阿伝, 10 m
 ●被覆状 ●綿毛のような個体 ●表面はツルツルの印象
 ●ヒドロ虫のなかま ●刺されると痛い



アナサンゴモドキ属 *Millepora* KICRS-L-00202, 阿伝, 10 m
ヤツデアナサンゴモドキ
Millepora tenera Boschma, 1949



KICRS-L-00202, 阿伝, 10 m
 ●平面的な樹枝状 ●綿毛のような個体 ●表面はツルツルの印象
 ●ヒドロ虫のなかま ●刺されると痛い



喜界島沿岸に広がる隆起した離水サンゴ礁上には、所によって入り江状の地形が見られる (ハワイビーチ, 2018.8.4)

- 深見裕伸・北野裕子・立川浩之 (2016) 喜界島の有藻性イシサンゴ類の種組成について. 月刊海洋, 号外 No. 56: 94-102.
- 深見裕伸・野村恵一 (2017) イシサンゴ類. 日本付着生物学会 (編), 新・付着生物研究法. 恒星社厚生閣, 東京. 35-52.
- Huang D., Arrigoni R., Benzoni F., Fukami H., Knowlton N., Smith N. D., Stolarski J., Chou L. M., Budd A. F. (2016) Taxonomic classification of the reef coral family Lobophylliidae (Cnidaria: Anthozoa: Scleractinia). *Zoological Journal of the Linnean Society* 178: 436-481. doi: 10.1111/zoj.12391.
- Huang D., Benzoni F., Arrigoni R., Baird A. H., Berumen M. L., Bouwmeester J., Chou L. M., Fukami H., Licuanan W. Y., Lovell E. R., Meier R., Todd P. A., Budd A. F. (2014) Towards a phylogenetic classification of reef corals: the Indo-Pacific genera *Merulina*, *Goniastrea* and *Scapophyllia* (Scleractinia, Merulinidae) *Zoologica Scripta* 43: 531-548. <https://doi.org/10.1111/zsc.12061>
- Huang D., Benzoni F., Fukami H., Knowlton N., Smith N. D., Budd A. F. (2014) Taxonomic classification of the reef coral families Merulinidae, Montastraeidae, and Diploastraeidae (Cnidaria: Anthozoa: Scleractinia) *Zoological Journal of the Linnean Society*, 171: 277-355. <https://doi.org/10.1111/zoj.12140>
- Japan Agency for Marine-Earth Science and Technology (2009 onwards) BISMAL: Biological Information System for Marine Life at <https://www.godac.jamstec.go.jp/bismal/>. Accessed on 2020-04-09.
- 西平守孝・Veron J. E. N. (1995) 日本の造礁サンゴ類. 439 pp. 海遊社, 東京.
- 野村恵一・鈴木豪 (2015) コモンサンゴ類の同定の話 (24) 国内産種の紹介 12 *Montipora monasteriata* と *M. tuberculosa* (3). マリンパビリオン, 44: 21-23. www.kushimoto.co.jp/marinepavilion/data/44-3.pdf
- 野村恵一・鈴木豪・岩尾研二 (2017) 阿嘉島のコモンサンゴ類. みどりいし, 28 supplement: 1-47. www.amsl.or.jp/midoriishi/28_nomura_et_al._2017.pdf
- Ota Y., Omura A. (1992) Contrasting styles and rates of tectonic uplift of coral reef terraces in the Ryukyu and Daito Islands, southwestern Japan. *Quaternary International*, 15: 17-29.
- 杉原薫・野村恵一・横地洋之・下池和幸・梶原健次・鈴木豪・座安祐奈・出羽尚子・深見裕伸・北野裕子・松本尚・目崎拓真・永田俊輔・立川浩之・木村匡 (2015) 日本の有藻性イシサンゴ類. 198 pp. 国立環境研究所, 茨城. <http://www.nies.go.jp/biology/data/coral.html>
- Veron J. E. N., Pichon M. (1976) Scleractinia of Eastern Australia I, Families Thamnasteriidae, Astrocoeniidae, Pocilloporidae. Australian Institute of Marine Science Monograph series 1: 1-86. <https://doi.org/10.5962/bhl.title.60617>
- Veron J. E. N., Pichon M. (1980) Scleractinia of Eastern Australia III, Families Agaraciidae, Siderastreaeidae, Fungiidae, Oculinidae, Merulinidae, Mussidae, Pectiniidae, Caryophylliidae, Dendrophylliidae. Australian Institute of Marine Science Monograph series 4: 1-471. <https://doi.org/10.5962/bhl.title.60617>
- Veron J. E. N., Pichon M. (1982) Scleractinia of Eastern Australia IV, Families Poritidae. Australian Institute of Marine Science Monograph series 5: 1-459. <https://doi.org/10.5962/bhl.title.60617>
- Veron J. E. N., Pichon M., Wijsman-Best M. (1977) Scleractinia of Eastern Australia II, Families Faviidae, Trachyphylliidae. Australian Institute of Marine Science Monograph series 3: 1-233. <https://doi.org/10.5962/bhl.title.60617>
- Veron, J. E. N., Wallace C. C. (1984) Scleractinia of Eastern Australia V, Family Acroporidae. Australian Institute of Marine Science Monograph series 6: 1-485. <https://doi.org/10.5962/bhl.title.60617>
- Veron J. E. N., Stafford-Smith M. G., Turak E., DeVantier L. M. (2020). Corals of the World, version 0.01 (Beta) at <http://coralsofttheworld.org/>. Accessed 2020-05-02.
- Wallace C. C. (1999) Staghorn corals of the world: a revision of the coral genus *Acropora* (Scleractinia; Astrocoeniina; Acroporidae) worldwide, with emphasis on morphology, phylogeny and biogeography. CSIRO Publishing, Collingwood, 422 pp.
- WoRMS Editorial Board (2020) World Register of Marine Species at <http://www.marinespecies.org> at VLIZ. Accessed 2020-05-02.
- 山崎敦子・渡邊剛 (2016) 炭酸塩生産と海洋の栄養塩は大気二酸化炭素濃度の変動を支配するのか? 月刊海洋, 号外 No. 56: 159-167.

おわりに

サンゴ礁研究の対象として世界的に有名な鹿児島県喜界島に、フィールドに根差した研究教育の拠点として喜界島サンゴ礁科学研究所が設置されてから5年が経ちました。この度、喜界島のサンゴ図鑑が発行されることになり大変に嬉しく思います。サンゴの種を同定すること（見分けること）は、研究者がサンゴに関する研究成果を公表して残していく際には必要不可欠なことですし、サンゴ礁の保全活動、環境教育やサンゴ礁モニタリングにも欠かせません。さらに、本書は、一般の方々や子供たちに喜界島のサンゴをより身近に感じてもらいたいという、研究者の熱い思いと工夫が随所に散りばめられています。

本書を片手に、類稀なる喜界島のフィールドへ出かけてみましょう。また、泳いで観察したサンゴや、浜辺で拾ったサンゴの骨格を本書と見比べて、それらがどのようなサンゴなのかを調べる上でもとても役に立ってくれると思います。

喜界島でサンゴ礁の研究や調査をする際の初めの一步に、また、海や海辺に出かける際のフィールド図鑑として、本書の活躍の場が皆さんの体験と一緒に広がってくれることを期待しています。

喜界島サンゴ礁科学研究所 理事長

渡邊 剛



A

<i>Acanthastrea echinata</i>	34
<i>Acanthastrea hemprichii</i>	34
<i>Acropora abrotanoides</i>	16
<i>Acropora aculeus</i>	16
<i>Acropora austera</i>	16
<i>Acropora digitifera</i>	17
<i>Acropora donei</i>	17
<i>Acropora elseyi</i>	17
<i>Acropora florida</i>	18
<i>Acropora gemmifera</i>	18
<i>Acropora granulosa</i>	18
<i>Acropora humilis</i>	19
<i>Acropora hyacinthus</i>	19
<i>Acropora intermedia</i>	19
<i>Acropora japonica</i>	20
<i>Acropora latistella</i>	20
<i>Acropora loripes</i>	20
<i>Acropora microclados</i>	20
<i>Acropora muricata</i>	21
<i>Acropora nana</i>	21
<i>Acropora nasuta</i>	21
<i>Acropora pulchra</i>	21
<i>Acropora robusta</i>	22
<i>Acropora secale</i>	22
<i>Acropora spicifera</i>	19
<i>Acropora tenuis</i>	22
<i>Acropora valida</i>	23
<i>Alveopora excelsa</i>	26
<i>Astrea curta</i>	38
<i>Astreopora gracilis</i>	23
<i>Astreopora myriophthalma</i>	23

C

<i>Caulastraea furcata</i>	38
<i>Coelastrea aspera</i>	38-39
<i>Coeloseris mayeri</i>	27
<i>Cynarina lacrymalis</i>	37
<i>Cyphastrea chalcidicum</i>	39
<i>Cyphastrea microphthalma</i>	39
<i>Cyphastrea serailia</i>	39

D

<i>Dipsastraea favus</i>	40
<i>Dipsastraea matthaii</i>	40
<i>Dipsastraea maxima</i>	40
<i>Dipsastraea rotumana</i>	41
<i>Dipsastraea speciosa</i>	41

E

<i>Echinophyllia aspera</i>	34
<i>Echinophyllia echinoporoides</i>	35
<i>Echinopora gemmacea</i>	41
<i>Echinopora pacifica</i>	41
<i>Euphyllia cristata</i>	30
<i>Euphyllia glabrescens</i>	30

F

<i>Favites abdita</i>	42
<i>Favites complanata</i>	42
<i>Favites halicora</i>	42
<i>Favites magnistellata</i>	43
<i>Favites rotundata</i>	43
<i>Favites stylifera</i>	43
<i>Favites valenciennesii</i>	44
<i>Fimbriaphyllia ancora</i>	30
<i>Fimbriaphyllia yaeyamaensis</i>	30
<i>Fungia fungites</i>	32

G

<i>Galaxea fascicularis</i>	31
<i>Goniastrea favulus</i>	44
<i>Goniastrea minuta</i>	44
<i>Goniastrea pectinata</i>	44
<i>Goniastrea stelligera</i>	45
<i>Goniopora djibojtensis</i>	52
<i>Goniopora pendulus</i>	52
<i>Goniopora tenuidens</i>	52

H

<i>Heliopora coerulea</i>	56
<i>Hydnophora exesa</i>	45
<i>Hydnophora microconos</i>	45
<i>Hydnophora rigida</i>	45

I

<i>Isopora cuneata</i>	23-24
------------------------	-------

L

<i>Leptastrea transversa</i>	55
<i>Leptoria phrygia</i>	46
<i>Leptoseris glabra</i>	27
<i>Leptoseris mycetoseroides</i>	27
<i>Lithophyllon scabra</i>	32
<i>Lithophyllon undulatum</i>	32
<i>Lobophyllia agaricia</i>	35
<i>Lobophyllia corymbosa</i>	35

<i>Lobophyllia ishigakiensis</i>	36	<i>Porites solida</i>	54
<i>Lobophyllia recta</i>	36	<i>Psammocora profundacella</i>	55
<i>Lobophyllia robusta</i>	36		
<i>Lobophyllia rowleyensis</i>	37	S	
M		<i>Sandalolitha robusta</i>	33
<i>Merulina ampliata</i>	46	<i>Seriatopora hystrix</i>	51
<i>Micromussa multipunctata</i>	37	<i>Stylocoeniella guentheri</i>	29
<i>Millepora exaesa</i>	57	<i>Stylophora pistillata</i>	51
<i>Millepora tenera</i>	57	T	
<i>Montipora aequituberculata</i>	24	<i>Turbinaria frondens</i>	29
<i>Montipora caliculata</i>	24	<i>Turbinaria reniformis</i>	29
<i>Montipora foliosa</i>	24		
<i>Montipora mollis</i>	25		
<i>Montipora monasteriata</i>	25		
<i>Montipora peltiformis</i>	25		
<i>Montipora tuberculosa</i>	26		
<i>Montipora turgescens</i>	26		
<i>Montipora turtlensis</i>	26		
<i>Mycedium elephantotus</i>	47		
<i>Mycedium robokaki</i>	47		
O			
<i>Oulophyllia bennettae</i>	47		
<i>Oulophyllia crispa</i>	47		
<i>Oxypora lacera</i>	37		
P			
<i>Pachyseris gemmae</i>	27		
<i>Pachyseris speciosa</i>	28		
<i>Pavona frondifera</i>	28		
<i>Pavona varians</i>	28		
<i>Pectinia lactuca</i>	48		
<i>Platygyra daedalea</i>	48		
<i>Platygyra lamellina</i>	48		
<i>Platygyra sinensis</i>	49		
<i>Platygyra verweyi</i>	49		
<i>Pleuractis granulosa</i>	33		
<i>Pocillopora damicornis</i>	50		
<i>Pocillopora elegans</i>	50		
<i>Pocillopora eydouxi</i>	50		
<i>Pocillopora verrucosa</i>	50		
<i>Porites australiensis</i>	52		
<i>Porites cylindrica</i>	53		
<i>Porites lichen</i>	53		
<i>Porites lobata</i>	53		
<i>Porites lutea</i>	53		
<i>Porites negrosensis</i>	54		
<i>Porites rus</i>	54		

ア		ク	
アオサング	56	クサビニオウミドリイシ	23-24
アザミサング	31	クシハダミドリイシ	19
アツキクメイシ	43		
アナキッカサング	37	コ	
アナサング	23	コイボミドリイシ	16
アバタセンベイサング	27	コオトゲキクメイシ属の1種	37
アミメサング	55	コカメノコキクメイシ	44
アラキクメイシ	40	コクボミコモンサング	24
アラリリサング	55	コツブコモンサング	26
アワサング属の1種	26	コトゲキクメイシ	39
		コノハシコロサング	28
イ		コハナガタサング	37
イシガキオオトゲキクメイシ	36	コブハマサング	53
イボハダハナヤサイサング	50	コモンサング属の1種	26
イボリュウモンサング	27	コユビミドリイシ	17
ウ		サ	
ウスエダミドリイシ	22	サザナミサング	46
ウスカミサング	47	サボテンミドリイシ	18
ウスコモンサング	24		
ウネリスリバチサング	29	シ	
ウルトラキクメイシ	40	シタザラクサビライシ	32
		シナノウサング	49
エ		ショウガサング	51
エダイボサング	45	シワシコロサング	28
オ		ス	
オオナガレサング	47	スギノキミドリイシ	21
オオハマサング	54	スゲミドリイシ	21
オオマルキクメイシ	43	スジウミバラ	48
オオリュウキュウキッカサング	41		
オトメミドリイシ	21	セ	
オヤユビミドリイシ	18	センベイアナサング	23
		センベイサング	27
カ			
カクオオナガレサング	47	タ	
カメノコキクメイシ	42	タイヨウリュウキュウキッカサング	41
カメノコキクメイシ属の1種	42	タカクキクメイシ	44
カワラサング	32		
カワラサング属の1種	32	チ	
カンボクアナサングモドキ	57	チチミウスコモンサング	24
カンムリハナサング	30		
		ツ	
キ		ツツハナガサミドリイシ	18
キクハナガサミドリイシ	20	ツツユビミドリイシ	19
キクメイシ	41		
キクメハナガササング	52	ト	
キッカサング	34	ドーンミドリイシ	17
		トゲイボサング	45

トゲキクメイシ	39	へ	
トゲクボミコモンサンゴ	25	ベニハマサンゴ	53
トゲサンゴ	51	ヘラジカハナヤサイサンゴ	50
トゲスギミドリイシ	19	ヘルメットイシ	33
トゲホソエダミドリイシ	22		
トゲマツミドリイシ	16	ホ	
ナ		ホシキクメイシ	45
ナガレサンゴ	46	ホソエダミドリイシ	23
ナガレハナサンゴ	30	ホソダイノウサンゴ	36
ナミキクメイシ	40	ホソツツハナガサミドリイシ	20
ナミクサビライシ	33	ホソナガレハナサンゴ	30
ナンヨウミドリイシ	19	ホンアバタコモンサンゴ	26
ニ		マ	
ニホンミドリイシ	20	マツバミドリイシ	20
ネ		マルアナハナガササンゴ	52
ネグロスハマサンゴ	54	マルカメノコキクメイシ	42
ネジレタバネサンゴ	38	マルキクメイシ	38
ノ		マルツツハナガサミドリイシ	20
ノウサンゴ	48	マルツツミドリイシ	17
ノウサンゴ属の1種	49	マルハナガタサンゴ	35
ハ		ミ	
ハナガサミドリイシ	21	ミゾカメノコキクメイシ	43
ハナガタサンゴ	36	ム	
ハナサンゴ	30	ムカシサンゴ	29
ハナブサツツマルハナサンゴ	30	ムラサキコモンサンゴ	25
ハナヤサイサンゴ	50	モ	
ハナヤサイサンゴ属の1種	50	モリスコモンサンゴ	25
ハマサンゴ	52	ヤ	
パラオハマサンゴ	54	ヤスリミドリイシ	22
ハリエダミドリイシ	16	ヤツデアナサンゴモドキ	57
パリカメノコキクメイシ	38-39	ユ	
ヒ		ユビエダハマサンゴ	53
ヒメイボコモンサンゴ	26	ユレハナガササンゴ	52
ヒメウスカミサンゴ	47	ヨ	
ヒメウネカメノコキクメイシ	44	ヨコミゾスリバチサンゴ	29
ヒメオオトゲキクメイシ	34	ヨロンキクメイシ	27
ヒメコモンキクメイシ	44	リ	
ヒラサンゴ	37	リュウキュウイボサンゴ	45
ヒラタオオトゲキクメイシ	34	リュウキュウキッカモドキ	35
ヒラノウサンゴ	48	リュウモンサンゴ	28
ヒロクチダイノウサンゴ	35	ロ	
フ		ロツマキクメイシ	41
フカアナハマサンゴ	53		
フカトゲキクメイシ	39		



しゃじ 謝辞

喜界島漁業協同組合および鹿児島県大島支庁林務水産部林務水産課水産係にはサンゴの特別採捕許可申請でお世話になりました。また、ヨネモリダイビングサービスおよび早町荘には調査の際に色々ご協力いただきました。さらに、奥裕太郎氏（美ら海水族館）にはクサビライシ科の種同定を、島田剛氏（宮古島市）にはハナヤサイサンゴ科の種同定を手伝っていただき、並河洋氏（国立科学博物館）にはヒドロ虫の分類について、ご助言を頂きました。これらの方々に厚くお礼申し上げます。

本書の作成にあたっては、JSPS 科研費（課題番号：17H01913、17K07547、18K06423）、令和1年度文部科学省特別経費（薩南諸島の生物多様性とその保全に関する教育研究拠点整備）、2019年度独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金、国立環境研究所の支援を一部受けて調査を行いました。



編著者

藤井琢磨 (ふじい たくま)

1987年、茨城県つくば市生まれ。琉球大学理工学研究科博士後期課程修了、博士(理学)。鹿児島大学国際島嶼教育研究センター(奄美分室)特任助教。専門はサンゴ礁無脊椎動物の分類と系統。主な著書に「大浦湾の生きものたちー琉球弧・生物多様性の重要地点、沖縄島大浦湾」「奄美群島の水生生物ー山から海へ 生き物たちの繋がりー」(共に分担執筆・編集/南方新社)など。

北野裕子 (きたの ゆうこ)

1983年、大阪府大阪市生まれ。京都大学大学院博士後期課程修了、博士(理学)。国立環境研究所生物・生態系環境研究センター特別研究員。専門はイシサンゴの形態分類、分子系統、集団解析。

磯村尚子 (いそむら なおこ)

1972年、東京都足立区生まれ。東北大学大学院理学研究科博士課程後期修了、博士(理学)。沖縄工業高等専門学校生物資源工学科准教授。専門は海産無脊椎動物の繁殖生態学と分子生態学。主な著書に「美ら島の自然史ーサンゴ礁島嶼系の生物多様性」(分担執筆/東海大学出版会)、「やわらかい南の学と思想ー琉球大学の知への誘い」(分担執筆/沖縄タイムス出版部)など。

深見裕伸 (ふかみ ひろのぶ)

1973年、和歌山県和歌山市生まれ。東京水産大学大学院水産学研究科博士課程修了、博士(水産)。宮崎大学農学部海洋生物環境学科教授。専門はイシサンゴの生態、分類、系統および進化。主な著書に「サンゴの白化」(分担執筆/成山堂書店)、「新・付着生物研究法」(分担執筆/恒星社厚生閣)など。

著者

駒越太郎 (こまごえ たろう)

1990年、埼玉県八潮市生まれ。北海道大学大学院理学院博士課程修了、博士(理学)。NPO法人喜界島サンゴ礁科学研究所研究員。

満木雄大 (みつぎ ゆうた)

1996年 宮崎県宮崎市生まれ。宮崎大学大学院農学研究科修士課程海洋生物環境科学コース在学中。

安田暢子 (やすだ のぶこ)

1986年 北海道帯広市生まれ。喜界島サンゴ礁科学研究所 広報担当。

山崎敦子 (やまざき あつこ)

1985年 北海道北見市生まれ。北海道大学大学院理学院博士後期課程修了、博士(理学)。九州大学大学院理学研究院地球惑星科学部門助教。喜界島サンゴ礁科学研究所所長。

渡邊 剛 (わたなべ つよし)

1970年、神奈川県横浜市生まれ。北海道大学地球環境科学研究科博士課程修了、博士(地球環境科学)。北海道大学大学院理学研究院地球惑星科学部門地球惑星システム科学分野講師。NPO法人喜界島サンゴ礁科学研究所理事長。

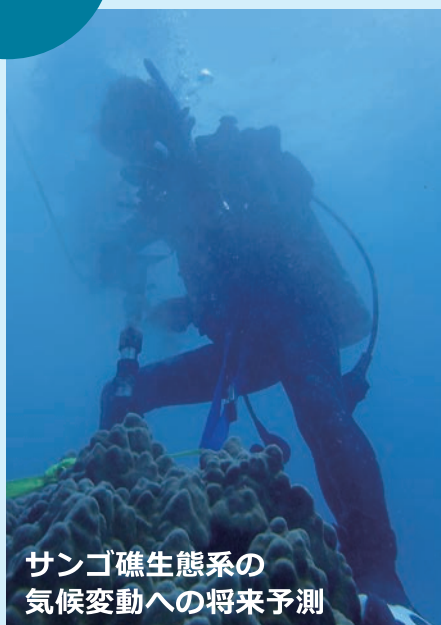


自己紹介 ～私たちの思い～

喜界島サンゴ礁科学研究所は、世界でも珍しい隆起サンゴ礁でできた喜界島を拠点に、サンゴをはじめとした海洋・海に住む生き物・地質の調査と研究をおこなっています。わたしたちは、自然科学の発展と、それをたくさんの人に知ってもらうため 2014 年から活動をはじめました。「100 年後に残す」を理念に、喜界島での研究を持続的に発展させ、その成果を世界に向けて発信し人材育成・教育・普及を通じて社会へ恩返していきたいと考えています。



研究 喜界島から世界へ発信する



サンゴ礁生態系の
気候変動への将来予測

地球規模での気候変動解析と未来予測のために、私たちの研究を次の世代に残します。また、海洋環境の観測地点として北西太平洋を代表する役割を担います。



リーフチェック

サンゴの飼育実験設備

教育

次世代のグローバルリーダーを育てる

喜界島というフィールドで豊かな感性と国際的な教養を身につけ、科学を通じた問題解決能力を養います。



サンゴ礁サイエンスキャンプ



サンゴ塾



喜界島の学校との連携



大学合同実習



インターンシップ



サンゴ礁文化の伝承

普及

研究者・旅人・地域が
出会う場を提供

CAFE・宿泊施設・ミュージアムを
運営し、交流の場を提供します。



喜界島サンゴ礁科学研究所で もっとサンゴを知ろう！

サンゴや海のこと、わからないことがあれば
研究所にきてね！電話でも聞くことができるよ。



喜界島サンゴ礁科学研究所
KIKAI institute for Coral Reef Sciences

☎ 0997-66-0200

鹿児島県大島郡喜界町大字塩道 1508
ホームページ <https://kikaireefs.org>



喜界島の有藻性サンゴ類

Zooxanthellate corals of Kikaijima Island

～ 生きているサンゴを見分けよう ～

2020年 8月8日 初版発行

編著者 藤井琢磨・北野裕子・磯村尚子・深見裕伸

著者 駒越太郎・満木雄大・安田暢子・山崎敦子・渡邊剛

DTP 藤井琢磨・深見裕伸

表紙デザイン 安田暢子

発行所 喜界島サンゴ礁科学研究所

〒 891-6151 鹿児島県大島郡喜界町大字塩道 1523

URL: <https://kikaireefs.org/>

Copyright © 2020 KIKAI institute for Coral Reef Sciences.

Published in Japan. ISBN 978-4-9911550-0-0 C0640

非売品 本書の無断転載を禁じます